

Ⅱ 社 会 教 育

1 本年度のあゆみ

「町ぐるみ『和木学園』構想」を基本として、教育目標「ふるさと和木に誇りと愛着を持ち、和木の将来を担う人づくり」の実現をめざし、生涯学習環境の整備に取り組んだ。特に、「緑の風薫る文化のまち和木町」を支える「いつでも、どこでも、だれでも学べる環境」をつくるため、「人材育成と組織の連携」、「施設の充実・活用」、「学習機会と情報の提供」を重点ポイントに位置付けている。

◇「人材育成と組織の連携」

町民一人ひとりが「豊かな学び」、「豊かな体験」を享受できることを目指して、「町ぐるみ『和木学園』構想」を実践しており、その中で様々な講座を開設したり、県主催の研修会への参加を呼びかけたりすることで、地域を支える人材の育成に努めた。「和木町コミュニティ・スクール委員会」では、各組織が連携して「めざす子ども像」を協議することにより、やまぐち型地域連携教育を展開することをめざしている。園小中合同での研修会を持つことで思いの共有を図ることができ、より連携を強固にすることができた。今後も、こどもの育ち、連続的な学びを見守っていくことを大切にしていきたい。

今年度も多くの講座等を行うことができた。地域人材の「役割の集中」と「高齢化」は変わらないため、活動を通じて「新たな繋がりづくり」と「人材発掘」を図ることが今後の課題といえる。

◇「施設の充実・活用」

様々な社会教育団体の活動が活発となる中、各施設をバランスよく使用しながら活動している。小・中学校のコミュニティ・ルームの利用率は下がったままであるため、利用を促し活性化していくことで地域連携教育のさらなる充実・発展をめざしたい。また、「こども園」のコミュニティ・スクールとしてのさらなる充実、活用の拡大に力を入れていきたい。

◇「学習機会と情報の提供」

今年は大人の学びとして、中学校美術部と連携した「年賀状作成講座」を開くなど、新しい講座やイベントを実施することができた。今後も安心・安全が確保をしつつ、町民の人生が楽しく、充実したものになるような場面をたくさん生み出していきたい。理想を形にするためには熟議等で「思いを共有」していくことが大切であるし、「これからどんなことができるか」を前向きに検討していく姿勢が必要である。

「町民一人ひとりが当事者」となることが「町ぐるみ」に繋がると考える。今後とも、わかりやすく身近に感じる形で伝えることで、周知・共有を図っていきたい。

1 社会教育全般

(1) 和木町コミュニティ・スクール委員

氏 名	所 属	職 名	備 考
湯浅 正行	コミュニティ・スクール委員会 (兼 和木こども園運営協議会)	委員長 (会長)	
轟 真由美	和木小学校学校運営協議会	会長	
守田 浩	和木中学校学校運営協議会	会長	
村上 邦明	地域	地域代表	
吉川 健治	地域	地域代表	
岡田 康彦	和木町地域協育ネット	コーディネーター	
崎本みどり	和木町地域協育ネット	コーディネーター	
山田 和明	和木町PTA連合会	会長	
中野さつき	和木町子ども会育成連絡協議会	副会長	
嘉屋真奈美	和木町体育協会	会長	
松本 康夫	和木町文化協会	会長	
米本 道江	すくすくフェスタ実行委員会	委員長	
楯田 理江	和木町家庭教育支援チーム	会長代理	
友重真莉菜	和木町保健相談センター	所長代理	
岸本 京子	和木こども園	園長	
河口 龍裕	和木小学校	校長	
鬼武 伸哉	和木中学校	校長	
松井千登世	和木こども園	副園長	
福村 和子	和木こども園	副園長	
木村 満彰	和木小学校	教頭	
米山 仁武	和木中学校	教頭	
中本 優花	和木町教職員研修会	学力向上（こども園）	
西本 聖子	和木町教職員研修会	学力向上（小学校）	
藤本 晴香	和木町教職員研修会	学力向上（中学校）	
中林 早希	和木町教職員研修会	心の教育（こども園）	
河本 正弘	和木町教職員研修会	心の教育（小学校）	
角 尚美	和木町教職員研修会	心の教育（中学校）	
杉岡加奈子	和木町教職員研修会	体力向上（こども園）	
宇治野暁子	和木町教職員研修会	体力向上（小学校）	
光貞 賢志	和木町教職員研修会	体力向上・地域担当（中学校）	
倉光 聖	和木小学校	地域担当	
岡部 光	和木中学校	地域担当	
前田 一平	和木中学校	教務主任	

(2) 和木町コミュニティ・スクール委員会

和木町 コミュニティ・スクール 委員会	第1回 4月25日（木） 文化会館研修室	報告事項 ・所管説明 各部会の取組について 協議 「学校・地域連携カリキュラムにおける 取組事業の決定とその取組について」
	第2回 8月 書面決議	協議 「取組の進捗状況及び今後の展開について」

	第3回 2月20日(木) 文化会館講習室	報告事項 ・今年度の取組について 協議 「学校・地域連携カリキュラムの見直しと今後について」
--	----------------------------	---

(3) 社会教育委員

役 職	氏 名	所 属	備 考
委員	岸本 京子	和木こども園 園長	
委員	坂田 敬太	和木こども園PTA 会長	
委員	河口 龍裕	和木小学校 校長	
委員	植木 義彦	和木小学校PTA 会長	
委員	鬼武 伸哉	和木中学校 校長	
委員	山田 和明	和木中学校PTA 会長	
委員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長	
委員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長	
委員	嘉屋真奈美	和木町体育協会 会長	
委員	龍永 亮彦	和木町老人クラブ連合会 理事	～10月
委員	松本 康夫	和木町文化協会 会長	副議長
委員	嶋谷 保則	和木町社会福祉協議会 会長	議長
委員	占部 泰章	三井化学株式会社岩国大竹工場 企業代表	

(4) 社会教育委員会議

社会教育委員会議	第1回 6月17日(月) 文化会館講習室	所管事項説明 ・令和6年度山口県教育重点施策 ・令和6年度和木町教育方針 協議題 ・社会教育施設経営方針並びに事業計画について ・国・県社会教育関係事業について ・町社会教育関係事業計画について
	第2回 10月7日(月) 文化会館講習室	報告事項 ・和木町社会教育の推進状況について(4月～9月) ・二十歳のつどいについて 協議題 ・10月～3月社会教育関係行事について ・あいさつ運動作品審査について
	第3回 3月17日(月) 文化会館講習室	報告事項 ・和木町社会教育推進状況について(10月～3月) ・令和6年度和木町社会教育推進の実践報告 協議題 ・令和7年度社会教育方針について ・令和7年度社会教育関係行事について

(5) 社会教育関係会議・研修会等

4月11日	第1回県市町義務教育関係主事等研修会	山口市
4月25日	第1回和木町コミュニティ・スクール委員会	文化会館
5月17日	山口県社会教育委員連絡協議会幹事会	山口市
5月24日	第1回県・市町社会教育主事・社会教育士等研修会	山口市
6月3日	第1回地域連携教育担当者研修会	文化会館
6月17日	第1回和木町社会教育委員会	文化会館
6月25日	第1回地域連携教育に係る市町別戦略会議	文化会館
7月12日	山口県社会教育委員連絡協議会総会 及び 研修会	山口市
8月	第2回和木町コミュニティ・スクール委員会	※書面決議
8月23日	地域連携教育担当者合同研修会	コミュニティセンター
9月12日	地域学校協働活動担当者会議	WEB
9月27日	学校教育や教育行政に社会教育の視点を活用する研修講座	山口市
10月7日	第2回和木町社会教育委員会	文化会館
11月8日	山口県社会教育研究大会	光市
11月25日	山口県社会教育委員連絡協議会地区別研修会	下松市
1月25日	地域連携教育再加速フォーラム	山口市
1月31日	第2回県・市町社会教育主事等研修会	山口市
2月15日	ひとづくり・地域づくりフォーラム in 山口	山口市
2月17日	山口県社会教育委員連絡協議会第2回幹事会 及び 第47回中国・四国地区社会教育研究大会山口大会実行委員会	山口市
2月20日	第3回和木町コミュニティ・スクール委員会	文化会館
2月21日	第2回地域連携教育担当者研修会	文化会館
2月28日	第2回地域連携教育に係る市町別戦略会議	文化会館
3月17日	第3回和木町社会教育委員会	文化会館

(6) 家庭教育関係会議・研修会等

5月25日	家庭教育アドバイザー養成①・ステップアップ講座①	山口市
6月19日	第1回教育支援員等研修会	WEB
6月25日	第1回家庭教育支援チーム連絡会議	柳井市
6月29日	家庭教育アドバイザー養成②	山口市
7月27日	家庭教育アドバイザー養成③・ステップアップ講座②	山口市
8月31日	家庭教育アドバイザー養成④	山口市
9月3日	不登校等対応に取り組む家庭教育支援チームに係る情報交換会	山口市
9月28日	家庭教育アドバイザー養成⑤・ステップアップ講座③	山口市
11月19日	家庭教育支援員等合同研修会 (兼 第2回家庭教育支援チーム連絡会議)	山口市
11月23日	家庭教育アドバイザー養成⑥・ステップアップ講座④	山口市
1月25日	地域連携教育再加速フォーラム (家庭教育アドバイザー養成⑦)	山口市
2月4日	第3回家庭教育支援チーム連絡会議	山口市

(7) 和木町子ども会育成連絡協議会

① 執行部役員名簿

役 職	氏 名
会長	坂田 直美
副会長	中野さつき
書記	大野百合子
書記	満井 智子
書記	中川 祐子

② 取組

7月29日	インリーダー研修	広島市内
-------	----------	------

(8) 和木町婦人会

① 執行部役員名簿

役職	氏名
会長	藤本 亮恵
副会長	井口美智子
書記	三原喜久江
書記	藤重由美子
会計	藤田 栄子

役職	氏名
監査	灰岡 裕美
監査	樋渡ひとみ

② 取組

通 年	支部長会議	福祉会館
通 年	クリーンアップ活動	各支部
4月15日	春の交通安全キャンペーン	役場前
4月23日	山口県連合婦人会総会	カリエンテ山口
4月26日	町婦人会総会	文化会館
5月1～31日	日赤募金・赤十字奉仕団活動	町内各地
5月 4日	タイムカプセル開封式 (和木小学校150周年記念行事)	和木小学校体育館
6月 1日	福祉まつり	福祉会館
8月 5日	夏期巡回ラジオ体操	小学校グラウンド
9月16日	敬老会	文化会館
9月27日	秋の交通安全キャンペーン	役場前
9～12月	高齢者交通安全世帯訪問	町内各地
10～12月	共同募金、歳末助け合い募金	町内各地
10月6～7日	全国地域婦人団体研究大会	京都市
10月21日	地域婦人会リーダー研修会	カリエンテ山口
10月21～22日	全地婦連中国ブロック会議	カリエンテ山口
11月 3日	わき愛あいフェスティバル ※中止	中学校グラウンド
11月 8日	趣味の会	福祉会館
11月30日	和木小学校開校150周年記念式典	和木小学校体育館
12月 7日	福祉餅つき大会	福祉会館前
12月13日	歳末街頭募金	和木駅
1月21～23日	こども園昔遊び	こども園

(9) 学校施設開放事業

学校施設の利用状況 (スポーツ少年団を除く)

【和木中学校グラウンド】

クラブ名	活動日	時間帯
ソフトボール村重	火	19:00～21:00
中組自治会 (4月～10月)	水	19:30～21:00

【和木小・中学校体育館】

クラブ名	活動日	時間帯
ウイングス和木	月	19:30～21:30
リアルバスケットボールクラブ	月・火	19:00～21:00
ホーネット	水	19:30～21:30
体育協会剣道部	火・金	19:30～20:30
バレーボール安村	水	18:30～20:30
ENBC 宮本	木	18:30～20:30
チーム1/3	木	19:30～21:30
カルテット	木	19:30～21:30
わがままクラブ	金	19:30～21:30
岩国 FID バスケット	金	19:30～21:30

(10) 町ぐるみ「和木学園」構想

4月20日	和木学園講座「歴史教室」	町内各地
4月21日	和木学園講座「和木学農園」①	感時園
5月13日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
5月19日	和木学園講座「和木学農園」②	感時園
5月27日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
6月10日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
6月16日	和木学園講座「和木学農園」③	感時園
6月24日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
7月 6日	お片付け講座「簡単3ステップシンブルお片付けでスッキリ解決」	文化会館
7月 8日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
7月21日	和木学園講座「和木学農園」④	感時園
7月23日	I C T活用工事兼学会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯近郊
7月23日	和木学園講座「あさり漁業体験」（住民サービス課共催）	小瀬川河口
8月 3日	第5回タイピング大会	コミュニティセンター
8月 5日	和木小学校開校 150 周年記念 夏期巡回ラジオ体操	小学校グラウンド
8月18日	和木学園講座「和木学農園」⑤	感時園
9月 9日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
9月11日	和木学園講座「昔あそび中学生ボランティア」	体育センター
9月15日	和木学園講座「和木学農園」⑥	感時園
9月21日	和木学園講座「親子陶芸体験～マグカップを作ろう～」 ※中止	やきもの工房
10月 9日	和木学園講座「昔あそび中学生ボランティア」	体育センター
10月20日	和木学園講座「和木学農園」⑦	感時園
10月21日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
11月11日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
11月13日	和木学園講座「昔あそび中学生ボランティア」	体育センター
11月17日	和木学園講座「和木学農園」⑧	感時園
11月25日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
12月 9日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
12月11日	和木学園講座「昔あそび中学生ボランティア」	体育センター
12月15日	和木学園講座「和木学農園」⑨	感時園
12月21日	和木学園講座「親子陶芸体験～作ったマグカップを使おう～」 ※中止	やきもの工房
12月21日	和木学園講座「ピアノ分解講座」	文化会館
12月23日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
12月26日	和木学園講座「コンビ学習（ふしぎ探検隊）」	小学校理科室
1月11日	日米交流書き初め会（企画総務課連携）	小学校屋内運動場
1月15日	和木学園講座「昔あそび中学生ボランティア」	体育センター
1月27日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
2月10日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
2月12日	和木学園講座「昔あそび中学生ボランティア」	体育センター
3月10日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
3月15日	第6回タイピング大会	コミュニティセンター
3月22日	和木学園講座「わきのきわウオーク（山側編）」	町内
3月26日	和木学園講座「自分たちで講座を企画・運営してみませんか」	文化会館



【「あさり漁業体験」の様子】



【「ピアノ分解講座」の様子】

(11) 成果と課題

近年、和木町の社会教育団体の自主的な活動・運営は定着してきており、自主事業だけでなく町の行事等にも積極的に参加し活躍している。また、スポーツ、文化サークル等で積極的な活動が今年度も目立った。今後も活動の安定的な継続を支援していきたい。

「わき愛あいフェスティバル」は台風の影響のため中止となったが、「すすくフェスタ」や「福祉まつり」等のイベントで様々な団体が連携し、町が一つになろうとすることができる点が本町の素晴らしいところである。関係の方々が高齢化していることもあり、上手く次世代に引き継げるようにより多くの人が関わる中でつながりの再構築をしていく必要が出てくると考えられる。そのために多くのエネルギーを使うと思われるが、和木町のよさをつないでいくことができればと考える。また、子ども会育成連絡協議会については、今後も新たな体制作りや持続可能な形の模索をしていく必要があると考えている。

「和木学農園」は自主的に運営する中で多世代交流ができており、講座として成熟してきたといえる。町ぐるみ「和木学園」構想では、「みんなが生徒 みんなが先生」ということで、今後は事務局主導のものだけではなく、より地域住民のアイディアによるバラエティ豊かな活動や講座が増えていく方向に近づけたいと考えている。

団体で分けると多岐に渡るように見えるが「思いは一つ」のもと、和木町ならではの連携のしやすさを生かしていきたい。

2 青少年教育

(1) 青少年問題協議会委員

青少年の健全育成をめざす上で、本町のリーダーシップをとる立場にあるのが、町青少年問題協議会である。

町内のコンビニエンスストアの利用状況等から「目立った問題行動」は見られないが、昨今の若者における SNS 上のトラブル、利用状況は気になるところである。

近年は不登校傾向にある児童生徒が増えていることから、和木町適応指導教室（スマイルルーム）の取組を上田指導員に説明していただいた。

役 職	氏 名	所 属(役職)
会 長	米本 正明	和木町長
副会長	重岡 良典	教育委員会 教育長
委 員	岸本 京子	和木こども園 園長
委 員	河口 龍裕	和木小学校 校長
委 員	鬼武 伸哉	和木中学校 校長
委 員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長
委 員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長
委 員	坂田 敬太	和木こども園 P T A 会長
委 員	植木 義彦	和木小学校 P T A 会長
委 員	山田 和明	和木中学校 P T A 会長
委 員	嘉屋真奈美	和木町体育協会 会長
委 員	坪井 通洋	和木町老人クラブ連合会 会長
委 員	竹本 講治	和木町民生委員児童委員協議会 会長
委 員	上田 丈二	和木町議会総務文教委員会 委員長
委 員	宮本 健吾	和木町教育委員会 教育長職務代理者
委 員	川野 敦史	和木駐在所 所長
委 員	崎本みどり	主任児童委員
委 員	原川 幸江	主任児童委員

(2) 青少年問題協議会・研修会

青少年問題 協議会・研修会	1 1 月 2 2 日 文化会館	協議会 「青少年問題の現状と地域ができること」 ・小中学校の現状 ・わきスクールガード、防犯パトロールの取組 ・和木駐在所より青少年の現状 ・総務省より施策説明 研修会 講話 「適応指導教室（スマイルルーム）の取組について」 講師 和木町教育委員会 教育相談専門員 上田 隆敏 氏
------------------	---------------------	---

(3) 青少年関係会議・研修会等

5 月 2 4 日	山口県青少年育成県民会議第 5 9 回総会	山口市
7 月 1 日	子ども環境クリーンアップ立ち入り調査	町内
8 月 2 4 日	青少年育成県民のつどい	山口市
1 0 月 3 1 日	青少年育成市町民会議会長・事務局長会議	柳井市
1 月 7 日	子ども環境クリーンアップ活動	町内

(4) 和木町青少年地域活動の取組

4月 9日	スポーツ少年団入団式	体育センター
6月 8日	県子ども会連合会前期指導者・育成者研修会	山口県総合保健会館
8月 9～15日	子ども向けイベント（ダイナソーVRワールド）	美術館
8月 16～25日	子ども向けイベント（ワキテンボスVRワールド）	美術館
9月 22日	ふれ愛コンサート	文化会館
10月 22日	二十歳のつどい実行委員会	W E B
11月 3日	わき愛あいフェスティバル ※中止	和木中学校特設会場
11月	全国青少年健全育成強調月間	
11月 22日	和木町青少年問題協議会・研修会	文化会館
11月 27日	二十歳のつどい実行委員会	文化会館
12月 8日	WAKIコンサート	文化会館
1月 11日	新春日米交流書き初め会	和木小学校屋内運動場
1月 12日	令和7年 和木町二十歳のつどい	文化会館
3月 18日	スポーツ少年団修了式	体育センター

(5) 放課後子ども教室（わきあいキッズ）

放課後や週末等に体育センターや小学校のグラウンド等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的に実施している。

令和2年度には活動が評価され、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受けた。今後もよりよい活動をめざしていきたいと考えている。

日 付	活 動	場 所	人数	日 付	活 動	場 所	人数
4月 24日	だがしや体験 1	文化会館講習室	2	9月 4日	昔あそび 11	体育センター	34
4月 30日	スポーツサッカー 1	小学校グラウンド	10	9月 11日	昔あそび 12	体育センター	38
5月 8日	昔あそび 1	体育センター	43	9月 18日	昔あそび 13	体育センター	38
5月 13日	だがしや体験 2	文化会館講習室	4	9月 25日	昔あそび 14	体育センター	33
5月 15日	昔あそび 2	体育センター	44	10月 2日	昔あそび 15	体育センター	36
5月 22日	昔あそび 3	体育センター	45	10月 5日	自然観察（森）	おおの自然観察の森	15
5月 29日	昔あそび 4	体育センター	43	10月 9日	昔あそび 16	体育センター	35
6月 1日	だがしや体験 3	保健相談センター	4	10月 16日	昔あそび 17	体育センター	35
6月 3日	スポーツ野球 1	小学校グラウンド	2	10月 23日	昔あそび 18	体育センター	36
6月 4日	スポーツサッカー 2	小学校グラウンド	8	10月 30日	昔あそび 19	体育センター	30
6月 5日	昔あそび 5	体育センター	40	11月 6日	昔あそび 20	体育センター	37
6月 12日	昔あそび 6	体育センター	44	11月 13日	昔あそび 21	体育センター	36
6月 13日	スポーツミニバス 1	小学校体育館	1	11月 16日	歴史教室	町内各地	2
6月 14日	スポーツ剣道 1	小学校体育館	1	11月 20日	昔あそび 22	体育センター	34
6月 17日	スポーツ野球 2	小学校グラウンド	2	11月 27日	昔あそび 23	体育センター	34
6月 19日	昔あそび 7	体育センター	44	12月 4日	昔あそび 24	体育センター	34
6月 20日	スポーツミニバス 2	小学校体育館	2	12月 11日	昔あそび 25	体育センター	33
6月 21日	スポーツ剣道 2	小学校体育館	2	12月 18日	昔あそび 26	体育センター	35
6月 26日	昔あそび 8	体育センター	41	1月 15日	昔あそび 27	体育センター	30
7月 3日	昔あそび 9	体育センター	42	1月 22日	昔あそび 28	体育センター	32
7月 10日	昔あそび 10	体育センター	43	1月 29日	昔あそび 29	体育センター	35
7月 25日	スポーツ弓道 1	蜂ヶ峯弓道場	16	2月 5日	昔あそび 30	体育センター	29
7月 26日	スポーツ弓道 2	蜂ヶ峯弓道場	16	2月 12日	昔あそび 31	体育センター	27
8月 4日	自然観察（海）	通津美が浦公園	26	2月 19日	昔あそび 32	体育センター	34
				2月 26日	昔あそび 33	体育センター	



自然観察（森）
おおの自然観察の森にて



歴史教室
歴史資料館にて

（6）あいさつ運動作品

あいさつ運動啓発作品審査結果(標語の部)

＜小学生の部＞

最優秀 咲かせよう 笑顔とあいさつ 和木町に

優 秀 出会うたび 大きな声で こんにちは

入 選 満面の 笑顔であいさつ 広がる和

入 選 和木町を すてきな町に あいさつで

小 1 松田 紗蘭 さん

小 6 足立 葵衣 さん

小 6 江木 惺虹 さん

小 4 福屋美優里 さん

＜中学生・一般の部＞

最優秀 伝えよう 和木の魅力を あいさつで

優 秀 あいさつで つながる人の和 地域の輪

入 選 和木町で 広がるあいさつ 地域の和

入 選 こんにちは 勇気を出せば 笑顔咲く

中 2 本田 希実 さん

中 1 清水 明莉 さん

中 3 秋吉 恵実 さん

中 1 須山 彩葉 さん

あいさつ運動啓発作品審査結果(ポスターの部)

＜小学生の部＞

最優秀



小 6 林 玲奈 さん

優 秀



小 6 小田望々華 さん

入 選



小 6 佐々木明莉 さん

<中学生の部>

最優秀



中1 高野 愛菜 さん

優 秀



中2 山中 琉羽 さん

入 選



中2 安村 梨菜 さん

入 選



中1 吉岡 彩乃 さん

(7) 四境太鼓

① 役員名簿

役職	氏名
代表	中野さつき

② 取組

11月 3日	わき愛あいフェスティバル※中止	中学校グラウンド
11月10日	和木町芸能祭	文化会館
3月29日	四境太鼓発表会	文化会館

(8) 二十歳のつどい

日 時 令和6年1月12日(日) 10:30 受付開始

会 場 和木町文化会館

内 容 11:00~11:30 二十歳のつどい式典

国家斉唱

主催者挨拶 和木町教育委員会教育長 重岡 良典

記念品贈呈 和木町教育委員会教育長 重岡 良典

代表者 中川 菜都 さん

お祝いの言葉 和木町長 米本 正明 様

お礼の言葉 代表者 高木 将士 さん

町民憲章唱和 代表者 竹内 成透 さん

11:30~11:40 スライドショー上映

11:40~12:00 記念写真撮影

12:00~12:50 アトラクション

対象者 現在和木町に在籍しており、平成16年4月2日から平成17年4月1日の間に生まれた者

平成28年度和木小学校、令和元年度和木中学校を卒業した者

(9) 成果と課題

放課後子ども教室については、コーディネーターを中心に、自主的な運営がなされており、「子どもの居場所づくり」と「豊かな体験」を提供する中、活発に活動することができている。今年度も毎週水曜日の「昔あそび」をはじめ、「だがしや体験」、「スポーツ体験」、「自然教室」と、多くの方の協力をいただき、児童が様々な活動に参加することができた。和木学園の取組の中では好事例の一つだが、指導者・教育活動サポーターの高齢化という課題を抱える。今年度、新しいサポーターが1人加わったものの1名やめられたため、全員で6名と変わらないということを考えるとまだまだ人数が必要だと考えている。新しい講座の開設の可能性も絡めながら、今後もつながりの中で人材確保に務めていきたい。

あいさつ運動については幅広い周知を目的として、標語・ポスターの募集、のぼりやポスターの作成、掲示といったことを今年も行った。また、民生委員児童委員の方々のあいさつ運動の日となる毎月第1月曜日をあいさつチャレンジデーで名付け、活動をしている。まだまだ定着していないが、和木町のあいさつを支える活動として根付かせたい。さらに、園小中においてもそれぞれ継続した取組が行われており、「人間関係の基礎基本」、「表現力・コミュニケーション力の第一歩」としてこれからも力を入れていきたいと考えている。

今後も、さまざまな体験・交流活動を通じて、青少年の健全育成に取り組んでいきたい。

3 人権教育

(1) 人権施策推進協議会委員

役 職	氏 名	所 属 (役職)
会長	米本 正明	和木町長
副会長	重岡 良典	和木町教育委員会 教育長
評議員	上田 丈二	和木町議会総務文教委員会 委員長
評議員	太田俊裕/宮本健吾	和木町教育委員会 教育長職務代理者
評議員	松本 康夫	和木町文化協会 会長
評議員	岸本 京子	和木こども園 園長
評議員	河口 龍裕	和木小学校 校長
評議員	鬼武 伸哉	和木中学校 校長
評議員	山本 和彦	人権擁護委員
評議員	村上 邦明	人権擁護委員
評議員	竹本 講治	和木町民生委員児童委員協議会 会長
評議員	村本 久雄	和木町自治連合会 会長
評議員	津島 宏保	和木町商工会 会長
評議員	嶋谷 保則	和木町社会福祉協議会 会長
評議員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長
評議員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長
評議員	占部 泰章	三井化学(株)岩国大竹工場 総務部 総務グループリーダー
評議員	渡邊 良平	和木町企画総務課 課長
評議員	松井 敏浩	和木町教育委員会事務局 事務局長

(2) 人権施策推進協議会・研修会等

和木町人権施策 推進協議会・研修会	7月10日 文化会館	協議会 ・令和5年度事業報告並びに決算報告 ・山口県および和木町の取組について 研修会 ・演題 インターネットと人権 ・講師 山口地方法務局岩国支局 支局長 丸山 哲也
和木町人権のつどい	11月26日 文化会館	・演題 「私も大切、あなたも大切 ～「人」を笑顔にする言葉のつかい方～」 ・講師 丹野 智文

(3) 人権関係会議・研修会等

4月17日	市町人権教育主管課長及び担当者合同会議	山口市
6月4日	学校・地域人権教育推進指導者研修会	山口市
7月9日	社会教育指導者のための人権教育研修講座	山口市
9月13日	学校・地域人権教育推進指導者研修会	山口市
10月17日	人権教育研修会	山口市
12月21日	人権ふれあいフェスティバル	山陽小野田市
2月13日	市町人権教育担当者協議会	山口市

(4) 成果と課題

人権教育に関しては、研修会や人権のつどい等において、保健福祉課との連携を図りながら運営を行っている。

今年度も感染症の影響はなく予定通りの活動ができた。人権擁護委員を講師に招いての人権教室や中学生の書いた作文も例年通り実施し、子どもたちの思いや心の成長を伺うことができた。「人権のつどい」では、全国中学生人権作文コンテスト岩国地区大会入賞者の表彰を行ったのち、講演を実施した。司会進行を中学3年生にお願いしており、意識の高まりにつながると考えている。今後とも、町民に対する人権啓発・人権教育を充実させるために、開催時期や内容等を検討し、多くの町民が参加できるものとしたい。

また、研修会の内容を充実させるとともに、社会教育団体等の全ての活動の中に、「人間尊重」という視点を盛り込んでいただき、これまで以上に、普段の生活に人権尊重の精神が浸透していくよう努めていきたい。

4 文化財

(1) 文化財保護審議会

① 文化財保護審議委員（任期：令和6年～）2年間

氏名	委員歴	備考
正中 克磨	平成14年度～	会長
米本 育美	平成25年度～	副会長
竹本 知行	令和2年度～	
吉川かおり	令和6年度～	

② 第1回審議会

ア 日 時 令和6年7月23日

イ 場 所 文化会館談話室

ウ 内 容 令和6年度の事業と予定について
歴史資料館について

③ 第2回審議会

ア 日 時 令和6年12月10日

イ 場 所 歴史資料館

ウ 内 容 歴史資料館の展示物について

(2) 町史・歴史関係の書物等

① 「ふるさと歴史の散歩」 平成8年12月発行

② 「ふるさと逍遙」 平成14年12月発行

③ 「和木町史」 平成15年10月発刊

④ 「和木町所蔵文書目録」 平成24年3月発刊 希望者に配布中

平成21年度から行った古文書整理事業の報告書である。町指定文化財の「嘉屋文書」及び明治前半の行政文書（戸長役場文書）を解説し、戸籍や移民などの項目別に分類して列記している。

200冊作成し、県内の図書館や町長、教育長などの関係者に配布した。和木町の古文書存在を知っていただくことが目的である。

希望者には配布し、古文書の閲覧を希望される場合は、職員立ち会いのもとで閲覧を認めることとしている。配布して間もなく、吉川史料館から閲覧希望が寄せられた。なお、嘉屋文書については平成28年度に、歴史教室等の際に岩国徴古館から借用していた和木村大竹村御境絵図は平成30年度にデジタル化済み。

⑤ DVD「私たちの町で戦いがあった」平成13年作成（平成25年DVD化）

「和木町歴史探訪 産業編」平成25年作成

和木町文化会館及び蜂ヶ峯総合公園管理棟にて販売中（1枚500円）



(3) 町内の指定文化財

① 県指定文化財

瀬田八幡宮本殿	(有形文化財)	和木町瀬田	【平成5年町指・平成10年県指】
---------	---------	-------	------------------

② 町指定文化財

釈迦如来座像	(有形文化財)	和木町和木	【平成5年指定】
迦葉尊者立像	(有形文化財)	和木町和木	【平成5年指定】
阿難尊者立像	(有形文化財)	和木町和木	【平成5年指定】
扁額「大瀧山」	(有形文化財)	和木町和木	【平成7年指定】
疫神社の祭礼	(民俗文化財)	和木町関ヶ浜	【平成11年指定】
妙見神社の檜	(天然記念物)	和木町関ヶ浜	【平成11年指定】
嘉屋文書	(有形文化財)	和木町和木	【平成14年指定】

(4) 成果と課題

四境戦争・明治維新に関連する各種事業やテレビ番組などの効果も薄れてきており、町内の史跡や施設についての問い合わせや町外からの来訪者も減少している。

また、町内の史跡や施設について、老朽化等の問題もあり、大幅な見直しを含めた検討が必要である。特に歴史資料館は、令和6年度に和木町文化会館に縮小移転を実施した。

2 文化会館

1 運営方針

町民が求めている文化活動の内容が多様化する中で、町長部局や学校、さらには文化協会等の社会教育団体との連携が、ますます重要となっている。特に子ども向けステージイベントをはじめとする自主事業を行うにあたっては、各方面に意見を求め、参考にしていくことでその時代や流行にあったイベントを実施していく。

また、館内各施設の老朽化は顕著であり、危険な箇所や小規模な故障が発生しており、部品生産終了による修理不能箇所も見受けられる。緊急度の高い場所から順に予算や補助金を確保して工事を実施し、利用者にとって安全安心な施設の維持を心掛ける。

2 事業の概要

(1) 自主事業

子ども向けステージイベント

ア 日 時 7月30日(火) 9時45分～11時15分

イ 演 目 かず先生のわくわくサイエンスショー

ウ 来場者数 353人

エ 実施報告 近隣3社のイベント業者から企画書を提案いただき、コンペを開催し、実施内容を決定した。空気の性質や水圧、力のつり合いなど、子どもたちの科学への興味関心を引き出し、分かりやすい解説で楽しみながら学習できる内容であった。



煙を使った巨大空気砲

(2) 貸館事業

① 統括

コロナ禍以前に行われていた団体の活動や一般のピアノ発表会などでの利用が増え、利用者数と利用団体数が以前の水準に戻っている。その他にも、文化協会所属団体が文化祭や発表会に備えてステージやホールを利用し、練習したことも利用状況が回復した大きな要因である。

② 各部屋の状況

ホール(ステージを含む)は毎週の四境太鼓の練習に加え、教育委員会や役場各課、文化協会主催のイベント、近隣の音楽教室、ピアノの発表会、ダンスや演劇の練習や発表会など、幅広く利用いただいている。

講習室は防音機能の整備により、会議だけでなく、音楽団体の練習会場としても利用されているほか、発表会やイベントの控室としても高頻度で利用されている。なお、令和6年度より公民館認定団体が1団体加わり、月2回利用している。

集会室はイベント時の控室として利用されることが多い。単独での使用は少なく、定期に使用するのは毎月2団体にとどまる。

商工指導室は、商工会や一般団体の会議を中心に使用いただいている。使用料が他の部屋の半額であることから、有料の使用率が高い傾向にある。

研修室は利用が長年低迷していたが、ダンスグループ1団体が毎週使用することで、利用頻度が上がっている。

視聴覚室は2階の奥側にあり、机が大型であることからレイアウト変更に難があり、引き続き長年低迷している。

全体として、公民館認定団体の高齢化や会員数減少により、活動の休止・縮小をする団体が多々見受けられることから定期使用減少の大きな要因である。

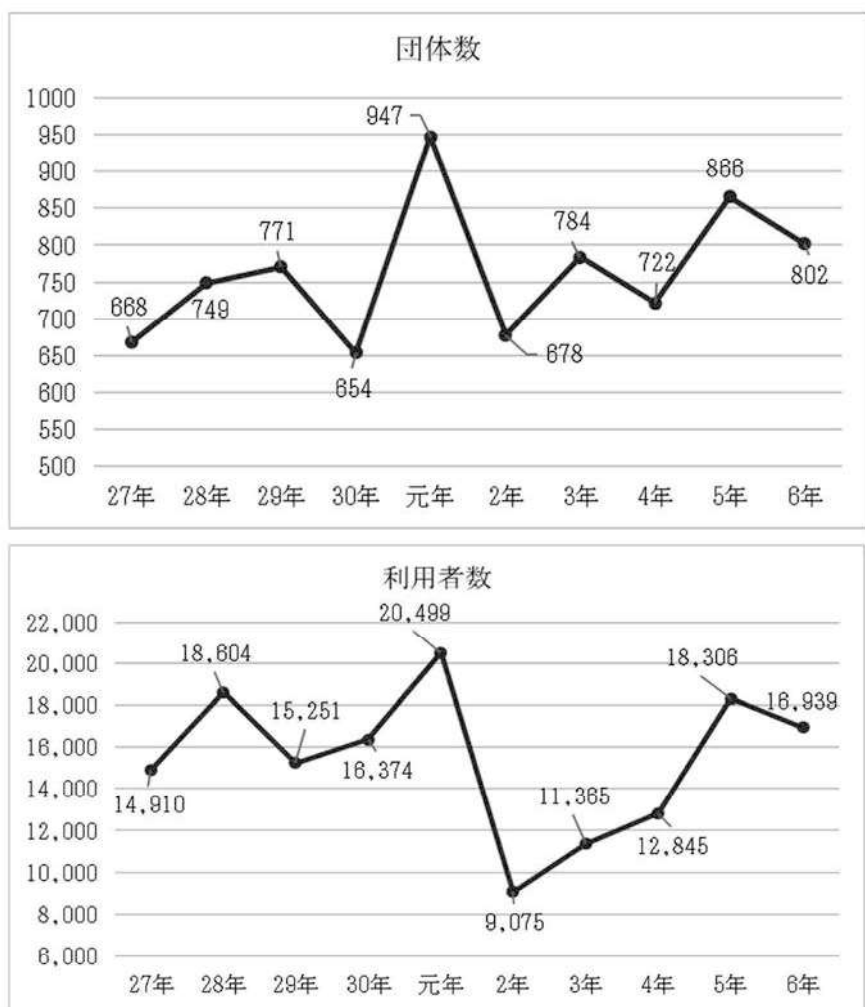
3 文化会館事業入館者等実績

(1) これまでの子ども向けステージイベント一覧

開催年度	名称	来館者数
平成22年	シャボン玉ショー	280人
平成23年	アンディ先生のマジックショー&マジック教室	350人
平成24年	コブリナサーカス	600人
平成25年	おじゃるず	300人
平成26年	RONE&G i g i	420人
平成27年	※からくりドール(台風のため中止)	中止

平成 28 年	からくりドール	380 人
平成 29 年	ミラクルイリュージョン	380 人
平成 30 年	キャラメルマシーンのサイエンスマジックショー	420 人
令和元年	影絵劇「三枚のお札」	350 人
令和 2 年	※開催時期延期のうゑで実施中止	中止
令和 3 年	※内容を仮決定したが中止	中止
令和 4 年	おんぷらんと&出張エデュパーク	午前 180 人 午後 130 人
令和 5 年	前半:キャラメルマシーンのスーパーサイエンスショー 後半: X K 徒 慶 スーパーイリュージョンショー	前半: 426 人 後半: 428 人
令和 6 年	かず先生のわくわくサイエンスショー	353 人

(2) 近年の利用団及び利用者数の推移



4 修繕・工事について

平成4年度の開館から32年が経過し、施設各所の老朽化が顕著である。特に舞台設備や消防設備の故障が多々発生しており、異常が発生した場合はすみやかに修繕(50万円未満)や工事(50万円以上)を実施している。しかしながら、部品の製造中止になった箇所も見られ、根本的な取替工事が必要な時期に来ているが、財政状況から工事費確保に苦慮している。今後の工事は適宜優先順位を決め、計画的な工事や修繕を行い、利用者の快適な施設使用、安全安心を確保していく。

5 成果と課題

文化会館は、町民の教養の向上と生活文化の振興を図るための施設として設置されている。発表会や会議、研修、趣味の活動場所として利用されており、町民の生涯学習における重要な施設である。これらの活動を十分に支援していくために、利用者のニーズに応えた施設運営を行っていく必要があり、危険や不具合個所の調査や修繕を継続して行っていく。

令和6年度は年間を通じて座席や利用制限をかけることがなかったため、最大収容人数がコロナ前に戻った。また、ダンスグループの1つが2年間に1度の発表会を行い、事前の練習も頻繁に行ったことから、文化協会の使用が増えている。一方で、役場・学校の団体数と利用者が前年に比べて大幅減になった。これは、令和5年度には町制施行50周年記念に関連したイベントや式典、講演会などが行われた反動である。

また、開館から32年が経過し、施設の老朽化が顕著である。これは文化会館だけでなく、町内各施設にも共通しており、全国的な課題でもある。随時工事・修繕を行っているが、経年劣化による空調設備や音響・照明設備の不具合が数多く見受けられる。また、部品の製造終了による修理の不能や法令の改正により使用不能となる資材も判明している。令和7年度以降も、優先順位を決めて計画的な工事・修繕を行い、利用者の快適な施設使用と安心安全を確保していく必要がある。

3 総合コミュニティセンター

1 運営方針

- (1) 生涯学習の支援はもとより、住民サービスの提供、災害時の避難所、さらにまちづくりの拠点としての役割を担う。
- (2) 時代背景や社会構造、住民の意識の変化を敏感にとらえ、地域住民の活性化や健康増進、住んでいて良かったと思えるまちづくりをめざす。
- (3) 青少年を導く立場にある地域の大人たちを対象にした社会教育や生涯学習への取組を重視する。
- (4) あらゆる年代階層の住民の方に、充実した魅力ある学習機会を提供することで、人々の連帯感や公共意識・道徳観・倫理観の育成につなげていく。
- (5) 公民館瀬田分館及び公民館関ヶ浜分館の個人利用の促進を図る。



2 本年度の努力点と反省点

(1) 生涯学習の情報拠点としての体制づくり

和木町のホームページの更新を機に、コミュニティセンターの情報を初めて利用する方にも、どんな部屋があり、広さ、料金などが一目で分かるように掲載方法の変更を行った。今後は公民館認定講座・自主活動団体や和木大学などの情報も盛り込んで、サービスの周知を図っていく。

(2) 公民館認定講座について

公民館認定講座は、講座と同等の活動を行っている団体を公民館活動団体と認定して、講座と同等の扱いとすることとしたもので、令和6年4月1日現在、39団体を認定している。認定の基準は、団体の人数が概ね5名以上であり、町民の割合が高く、講師謝礼が低廉であることとしている。

高齢化や会員減少などが、多くの団体に共通した課題である。和木学園構想の一環で、いかに60代の方を中心に、周知・勧誘するかが重要になってくる。毎年、年度末には新年度の募集を広報誌に挟んで全戸配布し、町内施設に配架するなどして、新規の勧誘に努めている。

(3) 総合的な学習の機会、発表の場の提供

文化協会や独自の公民館活動を通じ、学校や地域との交流や連携を深めている。

コロナ禍で、開催の難しかった文化協会主催「キッズ芸能祭」の代替として始めた「和木町キッズフォトコンテスト」（「キッズ芸能祭」と隔年実施）を開催し、学校だけではできないイベントを企画し、活動の展開に努めた。

(4) 情報社会に対応した、学習体制の強化と質的充実

高齢者の間でもパソコン・スマートフォンは必需品となっている。公民館認定団体にはパソコン教室が2団体あるが、平成30年度にフリーWi-Fiが整備され、パソコン教室でもインターネットが利用可能となり、教室の活性化に貢献している。

(5) 文化協会の役割

文化協会内各団体の活動は全体的には一時縮小する傾向にあったが、令和元年度以降、再び活性化してきている。特に新規加入や代表者が変更になった団体がイベントを新たに開催する傾向にあり、それらのイベントが末永く活動できるよう引き続き支援していく。

文化協会主催イベントの企画や運営は、11名の役員及び事務局でおこなっている。

協会の主導によりコロナ禍以前からの事業である文化祭展示会及び芸能祭やWAKI・コンサート、コロナ禍を契機に開催したキッズフォトコンテストを実施することができた。特に、WAKI・コンサートは、前身のミレニアムコンサートから数えて25回目の開催となった。これを記念し、WAKI・コンサートに出演経験があり現在も音楽家として活躍している柴田優香さんと森脇恵厘花さんをゲストとして迎えた。また、和木町絵画美術展覧会は和木町及び近隣市町から多くの参加者を集め、好評を得た。

今後も文化協会は会員による自由な発想による自主企画、活動により文化・芸術活動の啓発を行い、イベントなどの開催や、展示会及び広報活動などに取り組み、町民の総合的な文化意識を高揚する役割を果たしていきたい。

3 今後の課題

住民の学習要求は、近年の高齢化や情報化などで、非常に多様化・高度化してきており、どう対応していくかが今後の課題となっている。従ってWi-Fi通信速度の高速化などの取組が継続的に求められてくる。また、各年齢層のニーズに応え得る学習機会の提供が充分になされることが求められるのはもちろんのこと、コロナ禍の中で新たな生活様式に対応した体制づくりを確立し、安全と安心を担保する必要がある。

また、長年の課題として、現在の和木町での生涯学習活動の拠点である教育委員会社会教育係とコミュニティセンター、さらには地域振興協会との連携が挙げられる。社会教育係は学校教育との連携（主に放課後や休日の学習活動の提供）、町子連、婦人会、ふるさとづくり団体

等を通じ、コミュニティセンターは地域、公民館認定講座、文化協会等を通じ、地域振興協会は町内外での各種イベント開催に携わっている。

それぞれの部署間で事業やニーズなどの情報を共有し、より集客が見込まれ、教育面に有益な事業を展開していく必要がある。

4 高齢者学級（和木大学）

高齢者の「楽しく学べる」場を提供している和木大学は、平成2年5月に開校した当初は、受講者が非常に多く熱心に受講していたが、学生数及び出席者数が年々減少している。これは、主には高齢化によるもので、転出や死亡により、退学される方が多く、入学される方が僅かであるためや、講座内容のマンネリ化、和木大学の知名度が低いことが挙げられる。対策としては、広報誌やホームページ、ポスターの作成などで定期的に活動報告や学生募集をすること、公民館認定団体や社会福祉団体などに案内を配布すること、在学生に対し、ニーズの把握、開催回数の見直しやそれに伴う内容の充実化を行うことが挙げられる。

- ① 対 象 60 歳以上の人あるいはそれ相応の年齢に達したと認められる方
- ② 費 用 入学金や受講料は無料
- ③ 開催回数 年間 5 回程度
- ④ 学習内容 健康管理、人権教育、歴史・地理・民俗、人生論、政治・経済、社会問題、趣味、レクリエーション
- ⑤ 学 生 数 令和 6 年 12 月末日時点 37 名（前年比 - 8 名）

⑥ 実施講座

ア 開校式・第 1 回講義 5 月 30 日（木） 14 時 00 分～ 総合コミュニティセンター

講 義 「ルッキズム（Lookism）を考える

～メラビアンの法則とは…～

講 師 和木大学学長 重岡良典 氏（教育長）

出席者数 12 名

概 要 ルッキズム（外見至上主義）やメラビアンの法則について考え、身近にある偏見を認知し、お互いに理解を深め、その輪を広げていくことで解決につながり、今一度「幸福」について考えていく。

イ 第 2 回講義 9 月 6 日（金） 14 時 00 分～ 総合コミュニティセンター

講 義 「認知症になりにくいまち」は存在する？

講 師 山口県立大学看護栄養学部准教授 横田恵 氏

出席者数 14名

概要 高齢者を対象としたさまざまな調査から、歩く人が多いまちでは、認知症リスクを持つ人が少ないという事が明らかになっていることから、地域社会と健康との関わりについて考える。

ウ 第3回講義 10月11日（金） 13時30分～ 総合コミュニティセンター

講義 「足指を整えて、歩きやすい体づくり」

講師 理学療法士 中元幸美 氏

出席者数 16名

概要 10年後も元気で過ごすために、自分の体の点検をし、足指を整えて、歩きやすい体づくりをしていく。

エ 第4回講義 11月15日（金） 14時～ 和木町文化会館

講演 「太陽絶好調 オーロラ華麗！」

講師 オーロラメッセンジャー 中垣哲也 氏

出席者数 12名

概要 オーロラとバイオリン演奏のコラボを行い、アラスカの自然、野生とリアルなオーロラ映像投影とトークライブを行う。

オ 第5回講義 11月26日（火） 14時～ 和木町文化会館

講演 ～若年性認知症当事者からのメッセージ～

「認知症の私から見える社会」

講師 おれんじドア実行委員会代表 丹野智文 氏

出席者数 12名

概要 若年性アルツハイマー型認知症と診断され、現在も仕事を続けながら、認知症の方の笑顔を増やすために、全国で公演を行う。

5 団体事業

（1） 和木町文化協会

本年度の会員数は、12月28日現在延べ710人で、新たな加入団体もあるが、全体的にみると、減少傾向にある団体が多数を占める状況となっている。

これからも、和木町の文化事業の推進母体である文化協会の安



定した運営のために、新会員を確保し、会員数の維持が必要である。和木学園構想の一環で 50 代・60 代の方に関心をもってもらえるよう、日々の活動を通して文化活動の楽しさをアピールし、引き続き会員数の維持につなげていきたいと考えている。

本年度も、文化会館や和木美術館（アートウィング）、コミュニティセンターなどの有効的な活用をめざしつつ、身近な芸術・文化に親しみやすい行事、歴史・伝統を再確認できるイベント実現に向け、コミュニティセンターや教育委員会との連携、協力を得ながら、活動を繰り広げた。主な自主事業としては、次のとおりである。

今後も、限られた予算を有効に使い、運営可能な規模で事業を行っていき、会員相互にストレスなく、持続可能な会の運営を目指していきたい。

① 和木町文化協会総会

日 時 令和 6 年 4 月 22 日（月）18 時 30 分～ 会 場 総合コミュニティセンター
昨年度決算および事業報告、本年度予算および事業計画等、すべて承認された。

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	松本 康夫	副会長	中野 さつき	副会長	森脇 由紀
理 事	井口 和久	理 事	兼本 信昌	理 事	嘉屋 信明
理 事	崎本 みどり	理 事	中川 祐子	理 事	松岡 泉
監 事	海井 俊子	監 事	安田 左知子		
顧 問	海井 朗弘	顧 問	湯浅 正行	顧 問	島崎 こずえ

② 主催事業（令和 6 年 1 月～令和 6 年 12 月）

ア 第 11 回和木町絵画美術展

作品搬入

展示期間 2 月 11 日（日）～2 月 25 日（日）

10 時 00 分～17 時 00 分 ※最終日は 15 時 00 分まで

会 場 アートウィング（和木美術館）

出展者数 合計 200 点

（一般の部 153 点 高校生の部 47 点）

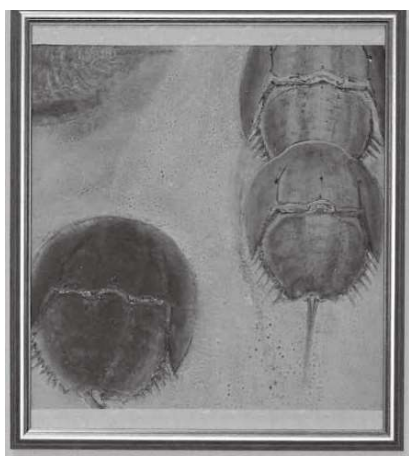
概 要 一般の方々から指定日時に搬入いただいた作品を審査し展示した。昨年より高校生の作品数が多くなった。コロナ禍の様々な制約が外れ、6 年ぶりに表彰式やギャラリートークも行うことが出来た。

審査結果

(ア) 一般の部

審査結果	作品名	氏名
大 賞	行方	山下 喜代女
優秀賞	はじめのひ	稲毛 陽都
奨励賞	断崖一隅	三分一 重厚
奨励賞	時のあいだに	神田 かずみ

《大賞》 一般の部



「行方」 山下 喜代女

(イ) 高校生の部

審査結果	作品名	氏名
大 賞	夢想のフィルム	山本 あい
優秀賞	夏花の薫り	藤山 美月
奨励賞	思い出の杜	廣實 海斗
奨励賞	小さな仕立て屋さん	兼田 尚明

《大賞》 高校生の部



「夢想のフィルム」 山本 あい



《ギャラリートークの様子》



《受賞式の様子》

イ 第3回 キッズフォトコンテスト

応募期間 8月1日(木)～8月31日(土)

展示期間 10月5日(土)～12日(土)

会場 和木美術館(アートウィング)

応募者数 小学生以下の部 55名

中学・高校生の部 37名

来館者数 128名



《 審査の様子 》

概要 子どもたちが撮影した写真を、グーグルフォームを利用し応募を受け付け、データをプリントアウトして額装し、美術館に展示して作品展を実施した。

《 グランプリ受賞作品 》



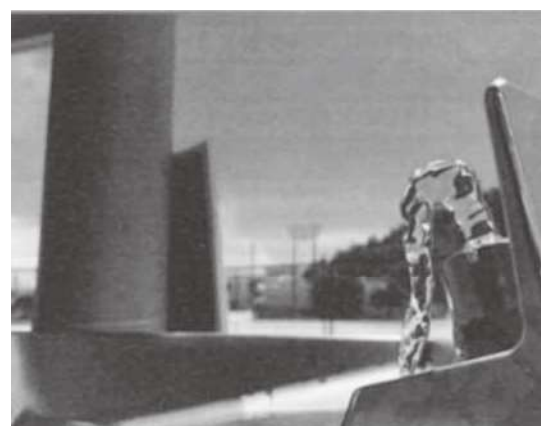
「弟の川あそび」 高野 成

《 小学生以下の部金賞作品 》



「夏の夕焼けと妹」 東屋 璃々亜

《 中学・高校の部 金賞作品 》



「青と夏」 田上 心

ウ 和木町文化祭 「展示会」

会 期 10月30日(水)～11月10日(日) ※月・火は休館

会 場 和木美術館 (アートウィング)

入 館 者 280 人

参加団体 10 団体、特別出展 5 人

概 要 文化協会員の成果発表の場として2週間にわたり、書道や絵画、フランス刺繍、短歌、フラワーアレンジメントなどの作品を展示した。

団体名	子供絵画教室、フランス刺繍 (橋本 松枝) 正筆書道会、フラワーアレンジメント講座、和木短歌会
特別出展	三分一 貴司、島崎 こずえ、島崎 陽子、藤川 暁子、宮本 健吾



《特別出展》



《正筆書道会》



《子供絵画教室》

エ 和木町文化祭 芸能際

日 時 11月10日(日) 12時30分～

会 場 和木町文化会館

出 演 者 16 団体、出演者のべ 180 名

来 館 者 401 名

概 要 合唱や民踊、ダンスなど日頃の練習成果を遺憾なく発揮した。

参加団体名	コーラス「あひる」、ハーモニーCoo、馨風流吟剣詩舞道、和木社交ダンス同好会 和木カラオケ同好会、ナニ モハラ、邦楽 生田流正派 桃の会 フォークダンスの会、プチママコーラス、和木ルンルンクラブ、公民館民踊部 ダンスサークル ABEAT クラブ、ナメア フラ オイカラ ‘イ はっち弦楽合奏団、四境太鼓、AMM
-------	---



《邦楽 生田流正派 桃の会》



《四境太鼓》



《馨風流吟剣詩舞道》

オ WAKI・コンサート '24

日 時 12月8日(日) 14時00分～

会 場 和木町文化会館

出演者数 14 団体、出演者のべ 118 名

概 要 今年は WAKI コンサート 25 周年記念として開催した。第一部は従来通りのコンサートを行い、スペシャルゲストとして二階堂和美さんをお招きし、第二部はこれまでの出演者の中から特に研鑽を積まれご活躍されているソプラノ歌手柴田優香さん、バイオリニストの森脇恵厘花さんをお招きした。町内外から 118 名の出演者が集い、ピアノや吹奏楽、合唱など各団体が日頃の練習の成果を発表した。



《柴田さん（左）と森脇さん（右）》



《二階堂さんと手話サークルの皆さん》



《出演者全員で「BELIEVE」の合唱》

③ 文化協会 所属団体による事業

実施日	団 体 名	事 業 名
1/14	はっち弦楽合奏団	第7回 はっち弦楽合奏団 定期演奏会
2/24	ヒッポファミリークラブ和木	親子で参加するワークショップ ～7ヵ国語で話そう。～
3/17	四境太鼓	太鼓まつり ‘23
3/29	ダンスサークル ABEAT クラブ	Candy お披露目会 2023
3/30	ロック部	Band Meeting in Waki Vol.22
4/28	和木町カラオケフェスタ	和木町カラオケフェスタ
6/9	和木カラオケ同好会	第38回 和木カラオケ同好会発表会
6/23	AMM	AMM DANCE RECITAL 2024
6/29、7/13	ヒッポファミリークラブ和木	親子で参加するワークショップ ～7ヵ国語で話そう。～
8/3	コミセンパソコン教室	第5回 夏季タイピング大会
8/4	四境太鼓	愉快的仲間たちわいわいフェスティバル
8/25	ダンスサークル ABEAT クラブ	第12回 Summer Dance Concert 2024 【Unite】（繋がる）
9/22	中学校吹奏楽部OB会	第13回 ふれ愛コンサート
9/28	ロック部	Band Meeting in Waki Vol.23
10/12	ロック部	Band Meeting in Waki Vol.24
10/26	コミセンパソコン教室	第10回地域交流 ハロウィンパーティー、
11/9	ヒッポファミリークラブ和木	親子で参加するワークショップ ～7ヵ国語で話そう。～
12/28	コミセンパソコン教室	第10回地域親睦会 クリスマスパーティー

6 公民館講座別利用状況（令和6年1月～12月）

団体名	回 数	延べ人数
子供絵画教室	43	641
子供英語教室	45	220
子供そろばん教室	44	150
合 計	132	1,011

7 公民館講座（公民館活動認定団体分）別利用状況（令和6年1月～12月）

団体名	回 数	延べ人数	団体名	回 数	延べ人数
和木ルンルンクラブ	20	432	和木パソコン教室	23	110
和木公民館民踊部	34	235	シェイプアップ体操	35	306
和木カラオケ同好会	37	334	リズムストレッチクラブ	46	279
専心小笠原流煎茶	27	207	和木社交ダンス同好会	21	109
フォークダンスの会	32	418	童謡・唱歌を歌う会” 赤とんぼ”	21	555
手話サークル「虹」	36	220	民謡三絃教室	25	92
プチママコーラス	33	214	和木絵画クラブ	6	25
ウォーキングエアロ	46	394	コミセン パソコン教室	40	291
和裁	48	323	英数教室	12	97
コーラス「あひる」	43	595	リラックス体操	40	547
専心池坊和木会	35	191	明水書道会（土曜会）	0	0
英会話教室	23	186	和木町囲碁同好会	46	259
明水書道会（水曜会）	0	0	ギター弾き語り同好会	30	80
和木ヨーガ教室	47	1,075	和木町将棋愛好会	24	107
正筆書道会	35	170	四境太鼓（文化会館）	37	226
ナメア フラ オ イカラ'イ	25	190	洋裁同好会（文化会館）	49	352
和木短歌会	12	85	ハーモニーCoo（文化会館）	14	189
民踊すみれ会	35	154	民踊ひまわり（関ヶ浜分館）	16	59
着付教室 小紋の会	13	58	手編教室（瀬田分館）	44	329
ダンスサークルABEATクラブ	42	574	合 計	1,163	10,183
フラワーアレンジメント講座	11	116			

8 施設別利用状況（令和6年1月～12月）

利用区分	コミュニティセンター		瀬田分館		関ヶ浜分館	
	使用回数	延べ人数	使用回数	延べ人数	使用回数	延べ人数
公民館講座	1,295	11,194	51	400	16	59
短期講座	1	40	0	0	0	0
福祉団体	24	536	107	461	202	1,781
公共団体	202	2,449	46	420	141	1,748
一般（有料）	829	8,193	691	1,763	4	41
合計	2,351	22,412	895	3,044	363	3,629

※手編教室は瀬田分館で、民踊ひまわりは関ヶ浜分館で、四境太鼓及び洋裁同好会とハーモニーCooは文化会館で講座を行っているため、6表＋7表と8表の公民館講座の使用回数及び延べ人数とは一致しない。

令和6年度 和木町公民館活動認定団体(公民館講座) 案内(総合コミュニティセンター)

曜日	No.	団 体 名	日 時	会費等(予定)	内 容
月	1	和木ルンルンクラブ	月曜日 9:30~12:00	会費 2,000円/月	中火でトトロ、ニコニコペース”継続は力なり”をモットーに心と身体健康作り、楽しい仲間作りをしています。
	2	和木公民館民踊部	第1・3月曜日 12:30~15:00 第2・4月曜日 9:30~12:00 (祝休)	会費 2,000円/月	初心者から上級者まで段階的に学べます。
	3	和木カラオケ同好会	月曜日 13:00~16:00 (祝休)	会費 1,000円/月 入会金 2,000円	歌で人生の喜美・哀愁等を表現できると素晴らしいですね。歌うことで、感情の豊かさと肺活も自然に鍛えられます。一緒に自分磨きに挑戦してみましょう!
	4	ブチママコーラス	月曜日(祝休) 19:30~21:00	会費 200円/月	”みんなで楽しく♪”をモットーに、気軽にハーモニーを楽しんでいる小さなママさんコーラスグループです。一緒に歌いませんか?
	5	専心小笠原流煎茶	第2・4月曜日(祝休) 10:00~18:00	会費 2,500円/月	丸盆、角盆、茶布敷などいろいろなお点前があります。楽しく一緒にお稽古しませんか。普段と違うお茶を味わう事ができます。
	6	フォークダンスの会	月曜日(祝休) 10:00~12:00	会費 2,000円/月	昔懐かしい曲、今はやりの曲、世界の曲に乗り楽しく踊っています。笑い声が絶えません。初心者歓迎ふるってご参加ください。お待ちしております。
	7	手話サークル「虹」	月曜日(祝休) 19:30~21:00	無料	聴覚障害者の言葉である「手話」日常会話、手話歌など学びませんか。
火	8	ウォーキングエアロ	火曜日(祝休) 9:30~11:00	会費 3,300円/月	ウォーキングを基礎とし、いろいろな動きを入れたダンスを取り入れ楽しく脂肪燃焼していきます。ボールや青竹ふみ・ピラティス・ヨガなども織り交ぜ、楽しく続けられる内容です。
	9	コーラス「あひる」	火曜日(祝休) 11:00~13:00	会費 3,000円/月	声と声が一つに溶け込む合唱の楽しさをあなたといっしょに。初心者大歓迎。
	10	英会話教室	第2・4火曜日 19:00~20:30	会費 2,000円/月	講師はアメリカ人です。初心者の方も歓迎します。(中学生以上)
	11	専心池坊和木会	火曜日(祝休) 13:00~15:00	会費 2,500円/月 花材費 1,400円/1回	お家にいけばなを飾りませんか。自然の草花や花木で”花あそび”を…。生花や英国風アレンジメントを楽しく素敵にいけましょう。
	12	和 裁	火曜日(祝休) 9:00~12:00	会費 2,000円/月	基礎知識、基礎技術が学べます。
水	13	和木ヨーガ教室	水曜日 10:00~11:30	会費 1,500円/月 (6ヶ月分前納)	静かな時間の流れの中で無理なく、ゆっくり身体と心を整えます。心身がリラックスしストレスから開放されます。
	14	民踊すみれ会	水曜日(祝休) 14:00~16:00	無料	婦人の方いっしょにやりませんか、楽しく出来る簡単な民踊です。
	15	正筆書道会	第1・2・3水曜日(祝休) 10:00~12:00	会費 3,000円/月	漢字、仮名、実用の書、硬筆まで初歩から学べます。
	16	ダンスサークル ABEATクラブ	水曜日 17:00~18:00 幼児クラス 18:00~19:00 小学校低学年クラス	会費3,000/月	無料体験、入会を随時受け付けています。和木町内のイベントにも 多数参加し、地域とのふれあいも大切にしています。楽しい仲間も沢山出来ますよ。小学校高学年からは他の曜日でレッスンをこなっています。

令和6年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

曜日	No.	団 体 名	日 時	会費等(予定)	内 容
水	17	着付教室 小紋の会	第2・4水曜日 (祝休) 13:30～15:30	会費 1,000円/月	普段着より礼装の着付けまで、 着付けやコーディネートの勉強をします。
	18	明水書道会 水曜会	水曜日(祝休) 9:30～11:30	会費 3,000円/月	実用書から芸術作品まで初歩から学べます。
	19	ナメア フラ オ イカラ' イ	水曜日(祝休) 13:30～16:00	会費 3,500円/月	ハワイの音楽にいやされながら楽しく踊りましょう。
	20	フラワー アレンジメント 講座	第2水曜日 (祝休) 17:30～19:00	会費 2,000円/回 (花・花器代込み)	国家検定フラワー装飾1級的美香先生と一緒に、子どもから大人 までみんなで楽しくお話ししながら、お花を飾りましょう。初めての 方でも男性でも大丈夫。素敵な作品が出来上がります。
	21	和木短歌会	第4水曜日 13:00～15:00	会費 200円/月	生活の中の感動を短歌に詠んでみませんか？お互いの作品を歌 評しあって学んでいきます。まずは見学にいらしてください。
	22	和木パソコン教室	第1・3水曜日 13:00～16:00 (祝休)	会費 3,500円/月 教材費 2,000円/年	パソコンの基本操作を中心に、ワード・エクセル・インターネット の利用で作品作りに楽しくチャレンジしましょう。繰り返しゆっくり 楽しく学べます。
木	23	シェイプアップ体操	木曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 2,000円/月 (6ヶ月分前納)	体幹コンディショニングを中心に、心も身体もシェイプアップしま す。
	24	童謡・唱歌を歌う会 ” 赤とんぼ ”	第1・3木曜日 13:00～16:00 (祝休)	会費 1,000円/月 (3ヶ月分前納)	どなたでもどうぞ。昔懐かしい思い出の童謡・唱歌、心の歌を いっしょに楽しく歌いましょう。(実質の練習時間は13:30～ 15:30となります。)
	25	和木社交ダンス同好会	第2・4木曜日 13:00～15:00 (祝休)	会費 500円/月 (6ヶ月分前納)	社交ダンスを愛し、さらに楽しいダンス仲間の輪が広がる事を 願って一緒に踊りませんか。
	26	リズムストレッチクラブ	木曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 3,000円/月 保険料1,500円/年	ストレッチ・リズム体操・リズムダンスを行っています。 (1回 無料体験できます)
	27	民謡三絃教室	第1・2・3 木曜日(祝休) 13:00～16:00	無料	初心者から学べます。 三すじの系に民謡をのせて楽しんでみませんか。
金	28	コミセンパソコン教室	金曜日 19:30～20:30 (祝日、1のつく日は 休み)	会費 2,000円/月 (中学生以下:半額) パソコン貸出可 (別途料金)	パソコンインストラクターを招いてのスキルアップ教室。タイピ ングの基礎を学び、Excel、Word、PowerPointZoom、インター ネットを使ってできることなど、幅広く学習します。 また、タイピング大会にエントリーし入賞を目指したり、地域交流 イベントのハロウィンやクリスマスパーティーも楽しみ♪
	29	英数教室	金曜日 19:00～21:00	会費3,000/月	学習内容は中学レベルの英語、数学です。小、中学生、高校生、大 人の方でご興味のある方は、ご相談ください。講師はアメリカに永 く生活していた和木在住の方です。
土	30	リラックス体操	土曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 2,000円/月	脳の活性化トレーニングを入れた無理のない運動を楽しく行って います。
	31	ギター弾語り同好会	土曜日 14:00～17:00 (月3回程度)	基本的には無料	弾き語り演奏の出来る方、弾き語り演奏をしたい方、バンド演奏 をしたい方、貴方が貴方の弾き語りの主役です。
	32	明水書道会 土曜会	土曜日(祝休) 12:00～14:00	会費 3,000円/月	実用書から芸術作品まで初歩から学べます。

令和6年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

曜日	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内 容
土	33	和木町囲碁同好会	土曜日 13:00～17:00	会費 1,000円/年 新規入会 1,000円	囲碁を通じて会員の親睦を深めています。 興味のある方は大歓迎。
	34	和木町将棋愛好会	第2・4土曜日 17:00～21:00	出席のつど500円 (むすび3ヶ お茶) 200円(対局のみ)	会員同志での将棋対局(全員アマチュア、同格の実力なので、 対局により棋力アップを図る)

（瀬田分館）

	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内容
金	35	手編教室	金曜日(祝休) 13:00～15:00	会費 1,500円/月	編めなくても大丈夫。毎回、楽しくおしゃべりしながら、作品をつく ています。小物からセーターまで、好きなものを手編でつくって みませんか？

（関ヶ浜分館）

	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内容
水	36	関ヶ浜分館 民踊ひまわり	水曜日(祝休) 14:00～16:00	会費 1,000円/月	楽しく出来る簡単な民踊です。

（文化会館）

	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内容
水	37	四境太鼓	水曜日(祝休) 19:00～21:00	会費 500円/月	小学生から大人までわきあいあいと活動中です。 定期的にプロの指導があります。(島根県在住 今福優先生)発 表会も企画開催しています。(不定期)
水	38	ハーモニーＣＯＯ	第2・4水曜日 19:30～21:30	会費 500円/月	町内唯一の混声合唱団。メンバーの懇親を第一に、ゆる～く楽し く歌っています。
金	39	洋裁同好会	金曜日(祝休) 9:00～12:00	会費 500円/月	毎回楽しくおしゃべりしながら、小物、ブラウス、パンツ等作ってみ ませんか？

4 図 書 館

1 図書館運営の基本方針

「和木町第5次総合計画」に基づく、「教育・文化のまちづくり」の一環として生涯学習の推進を図るため、町民の多様化、高度化する情報や教養のニーズに適切に対応することが重要な課題となっている。

このため和木町立図書館は、生涯学習推進体制として以下のことを基本方針とする。

- (1) 町民の読書活動を支援し、町民一人ひとりが公平に図書館サービスを楽しむことができるような支援体制を構築することを目標とします。
- (2) 人間形成（心の教育）の重要性から、子どもの読書活動を積極的に推進し、子どもたちの読書環境の充実を図ることを目標とします。
- (3) 上記の目標を達成するため図書館が主体となり、読書活動推進基盤の整備を図り、普及・啓発活動を行います。
- (4) 利用者の要求に応えうるよう、各分野にわたりバランスのとれた資料の選定収集を図ります。
- (5) 利用者が資料をすぐに見つけられるように、書架及び展示架の案内表示を充実させます。
- (6) 希望する資料の予約・リクエスト制度を周知させ、利用者への資料提供を実現します。
- (7) 利用者からの質問や調査研究に、迅速かつ的確に答えられるように、レファレンスサービス（参考業務）の充実に努めます。
- (8) 館内を常に快適な環境に保ち、利用者がゆったりと気持ちよく過ごせるように配慮します。

2 サービス方針

現在、大人も子どもも本離れが進んでおり、電子書籍やインターネットの利便性とは異なる、本を手にすることで得られる体験をより多くの方に提供することを第一に考えている。

まず、子どもたちに対しては、本との出会いの機会を提供することを重視している。館内を子どもたちにも分かりやすく整理するとともに、本の魅力を引き立てる展示を心がける。こども園・小学校、中学校など、子どもにかかわる地域の様々な機関や組織と連携を取りながら、子どもの読書活動の推進に努めることとする。

また、大人に対しては本に関する情報の提供に努めている。書架を整理するとともに、スペースを拡充し、関連書籍をまとめるなど、利用者の視点に立ち利便性の向上を心がける。展示コーナーを分かりやすくコーナー化し、本の魅力を伝える起点となるよう工夫するなど、読書活動の推進により一層力を入れることとする。

3 本年度の努力点

利用者が快適に過ごせる読書環境づくり、充実した資料の収集および提供を心掛けている。幅広い本に触れることができるようにとの思いから、展示コーナーの充実に取り組んでいる。文学賞受賞作や映像化された小説、話題の事柄・人物に関する書籍を紹介するとともに、季節に沿った実用書や、様々な企画展示を随時更新。視点を変えることで、目にとまりにくい分野の本を手にとってもらう機会とした。漫然とした展示にならないよう、コーナーの場所を見直すとともに増設するなどした。目を引くよう配置や選書に工夫し、図書館を利用する楽しみを伝える場となることをめざしている。

児童コーナーでは、既存の図書をより魅力的に捉えてもらうため、配置の変更や棚の増設、展示スペースの充実に努めている。読書を通して興味の幅が広がるよう、テーマに沿って関連図書をまとめるなどしている。

幼児コーナーでは、スペースの見通しをよくするとともに、赤ちゃん絵本と連動させた。埋もれていたロングセラー作品のコーナーを設けたところ、親子で絵本について語り合う機会となっているようだ。

一般コーナーと児童コーナーの間に位置するYA（ヤングアダルト）コーナーは、目につきやすい場所となるため子どもも大人も楽しむことができる図書を集めている。小学校高学年から中高生・一般までを対象とした小説などが人気である。また、子どもたちが将来を考えるきっかけにしてほしい図書や、親子で取り組みたい話題などを意識した企画を展開している。場所の利点を活かし、YAコーナーを拡充し、話題の本・おすすめの本を紹介するコーナーを設けた。より充実したコーナーをめざしたい。



一般展示コーナー



幼児コーナー



YAコーナー

4 今後の課題

貸出点数、利用者数ともに減少傾向である。3月までは外壁工事の影響を、夏の間は猛暑の影響を受けたと推測する。活字離れといわれて久しいが、図書館で本を手にしてこそ伝わる本の魅力を、最大限伝える努力を続けたい。

一般に関しては、話題を敏感に察知し、利用者の求める図書の変化に対応したい。

児童は、放課後に友だちと連れ立って来館する姿を、コロナ以前のように多く見るようになった。人気の小説シリーズや学習の参考になる図書をテーブルの周囲に配置し、利用促進及び貸し出しの増加につなげたい。

5 事業概要

(1) 読み聞かせ活動

おはなし会サークル「ゆびとま」による小学校への出前おはなし会は19年目を迎えた。図書館での定例おはなし会（毎月第3土曜日開催）に加え、小学校・こども園でのおはなし会、中学校での朗読放送を行っている。新規メンバーの加入もあり、現在8人のメンバーが精力的に活動している。

小学校での読み聞かせ活動は、学期ごとに各クラスを訪問し、それぞれ15分間の読み聞かせを行っている。また、中学校では隔月で、昼食時の校内放送を使って朗読会を行っている。こども園では、毎月こども園を訪問し、各回の対象年齢に合わせて15分程度の手遊びや読み聞かせを行っている。

3学期	3月4日・3月5日・3月8日
1学期	6月10日・6月13日・6月14日
2学期	12月4日・12月5日

小学校おはなし会日程

3学期	1月22日・3月11日
1学期	5月15日・7月8日
2学期	9月11日・11月6日

中学校朗読会日程

「物語を楽しんでもらいたい」という気持ちのこもった選書により、子どもたちの笑顔いっぱいの時間となっている。子どもたちの絵本を見るキラキラと輝くまなざし、ろうそくの灯の中で耳を傾ける姿が「ゆびとま」メンバーの活動力となっている。時間が限られたプログラムづくりに苦心する点もあるが、おはなし会がより魅力的になるようにメンバーも熱心に取り組んでいる。紙芝居や大型絵本、パネルシアターなど子どもたちを引き付けるプログラムを心がけている。

3 学期		1 学期		2 学期	
1 月 15 日	年長	4 月 22 日	年長	9 月 9 日	年中
2 月 19 日	年少	5 月 20 日	年中	10 月 21 日	年少
3 月 18 日	2 歳児	6 月 17 日	年少	11 月 18 日	2 歳児
		7 月 8 日	年長	12 月 16 日	年長
		8 月 19 日	2 歳児		

こども園おはなし会日程



こども園おはなし会の様子

(2) ボランティア育成のための研修

現在、ボランティア登録者数は 8 人である。

読み聞かせ活動をするなかで、子どもの本に関する知識や、本の選び方など資質向上のための研修を積み重ねるとともに、情報交換をしてネットワークを広げるため、毎月 1 回、勉強会を開催している。他の図書館等で行われた研修会等に参加して得た情報の復伝などの情報交換やおはなし会の反省等を含めて行っている。

(3) 図書館行事

① 古本バザー (12 月 7 日)

古本バザーは午前中 2 時間の開催となっている。去年は外壁工事のため来場者数は例年より減少したが、今年は多くの来場があった。来場者の動線を考え本の配置を工夫したため、ゆっくりと本を選ぶ姿が多く見受けられた。

② 読書感想画コンクール

読書感想画コンクールでは、88 点の応募があり、8 人の入賞者を決定し、表彰式を 12 月 7 日に行った。子どもらしい大胆な構図や多彩な色を使った作品が揃った。作品を審査していただいた島崎こずえ先生からも、子どもらしくのびのび描かれているとの講評

があった。



表彰式

金 賞	内田 妃織
	村木 結斗
銀 賞	野村 悠倫
	野村 実生
銅 賞	樋渡 結衣
	片山 貴子
	松本 逢暉
	前田 莉菜

入賞者

③ 幼児・小学生への読書活動推進

毎月定例のおはなし会は、コミュニティセンター2階図書館横のおはなしの部屋で開催している。館内掲示やHP、貸出票での告知に努めている。参加者数の増加は今後も課題であるが、波はあるものの、楽しみにしているという声も寄せられ、励みとなっている。幼い頃から絵本に触れ合うことは、子どもの心を育て、心を豊かにし、想像力を育むとともに、集中力がつき、知的好奇心が育ち、語彙が増え、読解力が身につき、長じては学力に影響するといわれている。親子連れを中心に啓発活動を行い、来館者の興味を誘っていきたい。

HPにおいて展示企画の紹介などに積極的に取り組んでおり、子どもにも分かりやすいページづくりを心がけている。また、子ども向けの企画展示では、来館のたびに新しい発見があるようにと、季節や行事に関するものなど定期的に入れ替えている。

6 図書館利用状況

図書館利用統計のまとめ（本館のみ）（令和6年1月～令和6年12月）

人口（人）	5,710	12月1日現在（総人口）
登録者数（人）	2,855	12月末日現在（町内有効登録者のみ）
貸出冊数（冊）	56,032	12月末日現在
蔵書冊数（冊）	75,257	12月末日現在（図書のみ）

貸出点数

月	一般図書	児童図書	郷土資料	雑誌	CD	DVD	R6 合計	R5 合計	昨年比
1	1,938	1,786	3	259	228	35	4,249	5,148	▲899
2	1,945	1,858	4	293	217	35	4,352	5,001	▲649
3	2,017	2,206	1	309	231	32	4,796	5,345	▲549
4	2,000	2,039	4	268	192	36	4,539	4,791	▲252
5	2,117	2,049	1	268	173	39	4,647	4,725	▲78
6	2,248	2,594	2	289	172	28	5,333	5,073	260
7	2,229	2,724	3	261	193	55	5,465	5,591	▲126
8	2,251	2,829	4	229	179	54	5,546	6,091	▲545
9	2,049	2,157	1	226	182	31	4,646	4,762	▲116
10	2,109	1,895	6	255	191	28	4,484	3,603	881
11	1,885	1,618	1	260	162	18	3,944	4,097	▲153
12	1,940	1,617	4	240	198	32	4,031	4,400	▲369
R6 合計	24,728	25,372	34	3,157	2,318	423	56,032	58,627	▲2,595
R5 合計	25,012	26,397	63	3,897	2,758	497	58,627		
昨年比	▲284	▲1,025	▲29	▲740	▲440	▲74	▲2,595		

年齢階層別利用人数

月 \ 歳	0-6	7-12	13-15	16-18	19-22	23-29	30-39	40-49	50-59	60～	R6 合計	R5 合計	前年比
1	60	97	18	5	8	26	147	219	122	455	1,157	1,339	▲182
2	73	110	8	10	8	18	137	185	138	496	1,183	1,320	▲137
3	75	133	13	7	4	15	157	223	139	518	1,284	1,429	▲145
4	66	130	22	0	6	18	141	196	140	505	1,224	1,336	▲112
5	71	131	12	4	9	17	143	203	123	502	1,215	1,262	▲47
6	80	192	24	5	6	11	172	243	142	520	1,395	1,348	47
7	78	225	36	6	3	11	166	270	130	525	1,450	1,482	▲32
8	72	207	54	7	19	18	170	257	174	509	1,487	1,664	▲177
9	77	136	17	9	21	15	145	200	148	491	1,259	1,227	32
10	54	92	13	10	6	19	154	202	146	481	1,177	945	232
11	55	93	11	2	3	5	117	216	131	466	1,099	1,075	24
12	48	107	15	9	2	5	110	219	127	488	1,130	1,169	▲39
R6 合計	761	1,546	228	65	93	173	1,649	2,414	1,533	5,468	15,060	15,593	▲533
R5 合計	863	1,604	258	105	117	210	1,946	2,724	1,513	6,253	15,593		
前年比	▲54	49	▲15	▲31	▲22	▲32	▲187	▲91	147	▲297	▲533		

５ 体 育 セ ン タ ー

１ 運営方針

体育センターの利用者は以前と比較すると大幅に減少（庭球場を除く）している。趣味の多様化や少子高齢化が進んできている現在、体育センターに求められるニーズも変化してきている。スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりはもちろんのこと、町民相互の連帯意識を醸成するための拠点として、利用者のニーズに対応した体制整備を行うため、総合型地域スポーツクラブを中心とし、和木町役場関係各所との連携を模索し、総合的なスポーツ振興策を実施していく。また、町民誰もが健康づくりとしてスポーツに親しみが持てる環境の整備を行い、高齢者の健康寿命延伸と多世代が交流する憩いの場づくりを主眼に運営をしていく。

２ 本年度の努力点

- ① 利用しやすい環境の整備
- ② 新しいスポーツに触れる機会の醸成
- ③ ウォーキング等、取り組みやすい運動への参加機運の醸成

３ 主催事業

（１） 和木町体育センター・和木町庭球場開放事業

全体としては昨年に比べて利用者が増えているが、夏場の酷暑による団体利用の減少が顕著に表れるようになった（特に高齢者）。何らかの暑さ対策（エアコン設置等）を検討しないと、長期的に見て健康寿命の停滞を招く原因となる可能性がある。

	個人合計（人）		団体合計（人）		庭球場（人）		総合計（人）	
	2024 年	2023 年	2024 年	2023 年	2024 年	2023 年	2024 年	2023 年
1 月	394	405	1,172	1,310	454	541	2,020	2,256
2 月	659	491	1,704	1,450	305	445	2,668	2,386
3 月	926	932	1,797	1,660	507	690	3,230	3,282
4 月	716	667	1,074	962	440	344	2,230	1,973
5 月	703	493	1,190	1,436	466	468	2,359	2,397
6 月	545	344	1,512	1,638	434	466	2,491	2,448
7 月	718	523	1,161	1,528	609	589	2,488	2,640
8 月	567	556	717	966	524	522	1,808	2,044
9 月	397	419	1,274	1,253	594	552	2,265	2,224
10 月	514	455	1,357	1,409	553	525	2,424	2,389
11 月	492	592	1,327	1,157	548	502	2,367	2,251
12 月	566	526	1,119	1,214	597	404	2,282	2,144
合計	7,197	6,403	15,404	15,983	6,031	6,048	28,632	28,434

近年、町外利用が増えており、遠くは広島市からの来所がある。また、バスケットボールが団体利用のみならず、個人利用でも数多く来所されている点が最近の傾向となっている。

(2) 和木町スポーツ教室

一般の方々（初心者）を対象とした各種スポーツ教室を実施した。バドミントン教室は募集開始後、1日で定員（20人）に達するほどで、毎年多くの子どもたちが受講している。卓球教室は高齢者の申込みが多く、また、少数ながら小学生も参加しており、高齢者の憩いの場や多世代間交流の場にもなっている。

教 室 名	受講者数(前年度)	開講時期	時 間 帯
卓 球 教 室(前期)	27 人(22 人)	4 月～7 月	毎週土曜日 9:30～11:30
バドミントン教室(前期)	33 人(20 人)		
卓 球 教 室(後期)	27 人(19 人)	12 月～2 月	
バドミントン教室(後期)	33 人(21 人)		



卓球教室



バドミントン教室

(3) プール一般開放

① 対象施設別開放期間・利用者数

	町民プール	中学校プール	小学校プール
開放期間	7/20～8/31 40日間	7/20～8/31 40日間	一般開放なし
利用者数	109 人 (R5 : 371 人)	257 人 (R5 : 429 人)	

前年度との比較（午前中のみ）

場所	令和5年度	令和6年度	増減
町民プール	350	109	△68.9%
中学校プール	373	257	△31.1%

② 利用時間の変更

令和5年度は熱中症警戒アラートの影響で39日中31日、昼からの開放を中止した。
そのため令和6年度は開放当初から午後からの解放を取りやめた。

③ 開放中止の基準と対応

熱中症対策として、岩国地域に熱中症警戒アラートの暑さ指数が31以上になることが予測される日や台風や雷注意報の発令の際もプール開放を中止した(12日間)。

7月28日から8月7日の11日間中10日を警戒アラート発令のため開放中止とするなど、前半は日程の約半分の開放を中止した。

④ 傾向

中学校プールの利用者数も激減したが、町民プールの利用者数が68.9%減と際立って減少している。理由として町民プールは保護者同伴が原則となっており、保護者が暑さのため敬遠したものと考えられる。今後、保護者の酷暑対策など、根本的な解決方法の検討が求められる。

4 各スポーツ関係団体の活動状況

(1) 和木町スポーツ推進委員

町におけるスポーツの推進のため、事業の実施にかかる連絡調整や住民に対するスポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとされており、各委員がそれぞれの立場から活動している。

役 職	氏 名
会 長	増井 幸伸
委 員	竹本 秀喜、嘉屋 真奈美 小林 浩貴、片岡 紀子

(2) 和木町体育協会

日常の活動や大会等の実施を通して、健康づくりと技術面の向上を図り、体育の振興及び生涯スポーツの推進に寄与している。近年は高齢化や趣味の多様化により、部員数の減少や部の統廃合が進んでいるが、部員数の減少については、各部の努力やスポーツフェスタの影響等により、ある程度底をついた感がある。引き続き持続可能な運営を行っていき

① 役員体制(令和6年12月15日 現在)

役 職	氏 名	
会 長	嘉屋 真奈美(バドミントン部)	—
副会長	竹本 秀喜(弓道・硬式テニス部)	小林 浩貴(バドミントン部)
理事長	休萬 ひとみ(バドミントン部)	—

副理事長	原川 泰一(剣道部)	三上 学(バドミントン部)
	吉本 武尚(剣道部)	片岡 紀子(弓道部)
監 査	中村 恭二(弓道部)	岡崎 紀子(卓球部)

② 部名及び部員数(令和6年12月15日現在) ※ ()内は昨年度の人数

部 名	部員数	部 名	部員数
ソフトテニス部	28人(33人)	バドミントン部	40人(38人)
硬式テニス部	26人(29人)	弓道部	52人(47人)
剣道部	8人(6人)	卓球部	20人(20人)
合 計		174人(173人)	

③ 主催大会

ソフトテニス部

和木町春季ソフトテニス大会	和木町庭球場	6月15日	20人
和木町夏季ソフトテニス大会	和木町庭球場	8月17日	17人
和木町秋季ソフトテニス大会	和木町庭球場	10月19日	24人
和木町冬季ソフトテニス大会	和木町庭球場	12月21日	24人

弓道部

射初会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	1月9日	13人
巴射会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	5月25日	38人
納射会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	12月14日	27人

バドミントン部

和木町近郊春季バドミントン大会	和木町体育センター	6月2日	106人
和木町近郊秋季バドミントン大会	和木町体育センター	12月1日	100人

(3) 和木町スポーツ少年団

和木町スポーツ少年団は、昭和47年に3団体78人から発足し、近年は少子化等により、団員数が減少しており、令和6年12月15日現在で7団体97人が活動している。スポーツ少年団活動が健全な心と身体をつくり、仲間同士互いに励ましあい、友情の輪を広げていく場となっている。

課題として、少子化による団員数減のため単独チームが組めず、他の市町との合同チームを編成して大会出場する部がある。また、参加大会の増加による団員の多忙化が挙げられる。

① 団員数(令和6年12月15日現在)

部 名	部員数	部 名	部員数
サッカー	34 人 (28 人)	バレーボール	6 人 (8 人)
ソフトボール	23 人 (22 人)	剣道	9 人 (15 人)
軟式野球	6 人 (7 人)	日本拳法	1 人 (3 人)
ミニバスケットボール	18 人 (25 人)	合計	97 人 (108 人)

② 主催大会の開催状況

和木町近郊ソフトボール大会(9月16日)

和木町近郊スポーツ少年団サッカー大会(11月10日)

③ 各団体の成績(抜粋)

サッカー部

周防地区サッカー浅江島田大会 U-9	光スポーツ公園	6月17日	準優勝
第16回東部U-19サッカーフェスティバル	光スポーツ公園	7月22日	優勝
U-8 近郷親睦サッカー大会	光スポーツセンター	11月4日	第3位

ソフトボール部

高水大会	サンビレッジ周東	5月19日	準優勝
第5回サ・リフォーム旗争奪少年ソフトボール大会	横山河川敷運動広場	6月15日	第3位
第46回山口県ソフトボール選手権大会	下松スポーツ公園グラウンド	6月15日	第3位
第35回久保杯ソフトボール大会	下松スポーツ公園グラウンド	7月7日	第3位
第34回広島佐伯近郷少年親善ソフトボール大会	阿品台中学校	9月1日	準優勝
第42回和木町近郊ソフトボール大会	蜂ヶ峯総合公園グラウンド	9月16日	優勝
山口県スポーツ大会	日置総合運動公園	9月23日	第3位
第6回周南市近郊小学生ソフトボール大会	周南緑地公園	9月29日	優勝
第10回サ・ン・瀬戸大島レジャークップ	周防大島中学校	10月6日	優勝
北九州地区広島・岩国地区交流親善ソフトボール大会	横山河川敷運動広場	10月13日	第3位
錦町近郊大会	広瀬分校第1グラウンド	10月20日	優勝
第18回春季全日本小学生ソフトボール大会山口県予選会	夢ヶ丘公園野球場	11月3、4日	優勝

ミニバスケットボール部

柳井ミニバス連盟チャリティ交歓会	柳井市伊陸地区体育館	4月27日	優勝
ひまわりカップ	海田東小学校	5月4日	第3位
松本杯（男子）	平生町体育館	7月14日	優勝
松本杯（女子）	平生町体育館	7月15日	優勝
グラシヤスカップ	小方学園	8月17、18日	優勝
UNITED CUP	和木小学校体育館	8月10日	優勝
中央杯	下松小学校体育館	8月11日	優勝
広町民ミニバスケットボール大会	シンヨーオーグリーン	11月2日	第3位
高屋メモリアルカップ	白竜ドーム	11月4日	準優勝

（４） 和木町総合型地域スポーツクラブ

平成26年度に設立され、主な活動は、体育協会が行っていた事業を引く継ぐ形で実施していたが、近年、テニススクールや剣道教室、スケート教室、スケートボード体験会、わきあいあいウォークなど各種事業を数多く手掛けるようになってきている。今後とも各種団体と連携しながら、地域を総括するクラブとしての活動が期待されている。

① 会員構成

合計216人（和木町スポーツ推進委員協議会5人、和木町体育協会174人（和木町スポーツ推進委員協議会4名含む）、和木ミニバス35名、一般2人）

② 事業実施状況

ア テニススクール（和木町庭球場）

対象	初心者、初級、中級
講師	竹本秀喜、北野忠、浴哲雄 早田定生、古林七実
期間	第Ⅰ期 4月3日～5月22日 第Ⅱ期 7月3日～8月21日 第Ⅲ期 10月2日～11月20日
参加者数	第Ⅰ期 23人（R5：13人） 第Ⅱ期 27人（R5：13人） 第Ⅲ期 30人（R5：16人）



イ 第32回和木町ゴルフ大会（和木ゴルフ倶楽部）

期 日 5月5日

参加者 112人（R5：121人）

ウ 地域安全交流ソフトボール大会（蜂ヶ峯総合公園グラウンド）

近年は参加チームの減少が甚だしい。令和6年度については1チームしか申し込みがなく、大会を開催することができなかった。次年度以降は各自治会にアンケートを実施し、ソフトボールを含めて1から種目の見直しを行う。老若男女を問わず参加できる種目の検討を行う。

エ わきスポーツフェスタ

会場：体育センター、和木町庭球場、蜂ヶ峯総合公園、和木中学校体育館

期 日 10月14日

種目	当日参加者数		備考
	令和6年度	令和5年度	
ウォーキング	27	34	
卓球体験	30	20	
硬式テニス体験	26	22	
バドミントン体験	28	24	
弓道体験	32	28	
モルック体験	40	—	初開催
ふわふわスライダー	37	—	初開催
合計	220	147	



昨年度に引き続き、広域にわたり広報を行った。その結果、定員のないウォーキング、ふわふわスライダーを除き、全ての種目において定員を超える申し込みがあり、参



加者は昨年度に引き続き大幅増となった。今年度は他団体の協力のもと、新たにモルック体験、ふわふわスライダーを開催した。

オ わき愛あいフェスティバル（中止：ニュースポーツ紹介：モルック）

期 日 11月3日

フェスティバルそのものが雨天により準備ができず中止となった。モルックは町内で盛り上がりつつあるので引き続き来年度も体験会を開催し、普及をめざしていく。

カ わきあいあいウォーク（初開催）

10月、11月の2ヶ月にわたり、保健福祉課、都市建設課と共催でわきあいあいウォークを開催した。やまぐち健幸アプリ等を使用し、10月、11月、10・11月の3つの部門に分かれて歩数を競った。47名の参加があり、12月6日に上位入賞者に対し表彰を行った。また、やまぐち健幸アプリ内のデータを参照すると、和木町は下記の表のとおり8月は2位、9月以降は1位となり、10・11月には県内で唯一、平均歩数が10万歩を越えるなど、昨年度と比較して少しずつではあるが町民の中に浸透し始めている。ウォーキングは気軽にできて、健康増進にもつながるため、来年度以降も引き続き開催をめざしたい。

やまぐち健幸アプリの地域別結果（1人あたりの平均）

	8月		9月		10月		11月	
	市町名	歩数	市町名	歩数	市町名	歩数	市町名	歩数
1位	阿武町	61,981	和木町	83,703	和木町	108,848	和木町	104,304
2位	和木町	59,377	阿武町	75,110	阿武町	95,412	阿武町	71,122
3位	田布施町	54,365	下松市	56,107	下松市	73,126	長門市	61,051
4位	美祢市	53,038	田布施町	55,075	田布施町	68,565	田布施町	60,693
5位	柳井市	45,805	美祢市	54,630	美祢市	63,464	美祢市	57,451

やまぐち健幸アプリ県内順位及び登録者数の推移

月	令和5年度（県内順位：町登録者数）	令和6年度（県内順位：町登録者数）
8月	56,153歩（5位：一人）	59,377歩（2位：182人）
9月	65,482歩（3位：一人）	83,703歩（1位：243人）
10月	90,777歩（2位：一人）	108,848歩（1位：252人）
11月	93,535歩（1位：160人）	104,304歩（1位：257人）

キ スケート教室

期 日 12月15日（第1回目）

今年度で3年目となるスケート教室は、昨年度同様、子どもたちに大変人気があ

り、募集開始後1週間足らずで定員（23名）に達した。

滑り始めは手すりを離すことができず、よちよち歩きしかできない子もいたが、指導者の方によるアドバイスにより、終わる頃にはみんな笑顔で滑ることができるようになっていた。

ク 剣道教室

こども園の年長から小学6年生

を対象に2月20日から3月29日にかけて全8回に渡り開催された。町内より1名の参加があり、日本古来の武道に触れ合う機会を楽しんだ。



5 成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大の直接的な影響はほぼなくなり、前年度と比較すると利用者が増えてきた。コロナ禍以前に行っていた行事は、雨天中止を除くと、おおよそ開催することができた。

近年引き続いている課題としてスポーツ少年団員数の減少が挙げられる。部員の減少による廃部や休部が増え、今後も団員数は減少傾向にあることが予想される。総合型地域スポーツクラブにおいては理事長を中心に既存の行事の見直しや新規事業の企画（令和4年度：フィギュアスケート教室、令和5年度：ボルダリング講習会、スケートボード体験会、弓道体験、わきあいあいウォーク、令和6年度：モルック体験）を行い、総合型地域スポーツクラブ（体育協会）への加入につなげている。また、事務局主体の運営から徐々に役員・会員主体の運営へのシフトを引き続き図っていく。

今後も、和木町のスポーツ人口の増加や町民の健康増進のために、誰もが気軽にスポーツを始めることができ、継続して取り組むことができる環境を整備することが求められる。各スポーツ団体が主催する大会、教室やイベントがそのきっかけとなるように総合型地域スポーツクラブの役員・会員や行政と連携して企画・周知を行い、スポーツの振興に加え、スポーツ・レクリエーションを通じた多世代交流の場を醸成できるよう尽力していきたい。

施設面では、1984年建設され築40年を迎えた体育センターの老朽化が進んでいる。長年に渡る雨漏り、怪我につながりかねないアリーナ内壁の剥がれ・アリーナ床の浮きの改修、バスケットゴールの改修について重点的に予算を確保し、安全安心な施設として、また、気軽に立ち寄り、世代間を超えた交流場所としての整備を行ってきたい。

6 美術館

1 運営方針

(1) 事業について

町民の文化・芸術に触れる機会を提供するため、今年度は自主事業として夏休み子ども向け展示を行い、さらに文化協会及び文化協会傘下団体主催の展示を行った。また、今年度は和木小学校が開校 150 周年を迎えたため、記念展示会が当館で開催された。

(2) 宣伝

美術館に 1 人でも多く足を運んでいただけるよう、ポスターやチラシを早めに作成して、コミュニティセンターや図書館、学校など人が集まる場所に配布し、広く展示会を呼びかけた。また、従来の広報や町ホームページによる宣伝だけでなく、Facebook、和木町公式 LINE に加え、アイキャンのイベント情報コーナーでの放送、岩国地域のタウン情報誌にも記事を掲載するなど周知方法も工夫した。



2 事業の概要

(1) 自主事業

① 夏休み子ども向け展示

ア 開催日時 前半：8月9日(金)～15日(木) 毎日10時00分～17時00分
後半：8月16日(金)～25日(日)

イ テーマ 前半：ダイナソーVRワールド
後半：ワキテンボス VR ワールド

ウ 内容 VR マシンをメインコンテンツとし、前半は恐竜の世界、後半は遊園地をテーマに子ども向けの乗り物やエア遊具、迷路、ゲームコーナーなどをそ

ろえたプレイパークを実施した。

エ 来場者数 前半：2, 163人

後半：2, 336人

オ 特記事項 イベント業者4社から提出された企画書をもとにコンペを実施し、内容や集客力、計画性に最も優れた業者と契約した。

カ 実施報告 前半後半ともに親子や祖父母3世代での来館者が多く、子どもも保護者も楽しめる内容で連日盛況であった。特に園児から小学校低学年の児童に人気が高く、リピーターも多かった。夏休みに和木美術館に来れば何かやっている、と毎年子ども向け展示を楽しみにされている来館者の姿も見受けられた。



これまでの夏休み展示会における年度別開催内容と来館者数

開催年度	展示内容	開催期間		来館者数	1日あたり
23年度	恐竜展	7月23日～8月21日	30 日間	2,400 人	80.0 人
24年度	トリックアート	7月28日～8月26日	30 日間	7,825 人	260.8 人
25年度	鉄道展	7月27日～8月25日	30 日間	3,310 人	110.3 人
26年度	水族館	8月1日～8月17日	16 日間	5,568 人	348.0 人
27年度	だんぼーる迷路	7月31日～8月16日	17 日間	5,366 人	315.6 人
28年度	トリックアート	7月29日～8月14日	17 日間	5,608 人	329.9 人
29年度	にんじゃきつず	7月29日～8月14日	17 日間	4,164 人	244.9 人
30年度	バーチャル飛行体験	8月3日～8月19日	17 日間	2,431 人	143.0 人
元年度	光と遊びデジタルアートパーク	8月2日～8月18日	16 日間	4,090 人	255.6 人
2年度	※実施中止		日間	人	人
3年度	※実施中止		日間	人	人
4年度	トリック3Dアート展	8月5日～8月21日	17 日間	1,533 人	90.2 人
5年度前半	わくわく水族館	8月9日～8月15日	7 日間	2,938 人	419.7 人
5年度後半	はたらく乗り物プレイランド	8月19日～8月28日	10 日間	2,075 人	207.5 人
6年度前半	ダイナソーVRワールド	8月9日～8月15日	7 日間	2,163 人	309.0 人
6年度後半	ワキテンボスVRワールド	8月16日～8月25日	10 日間	2,336 人	233.6 人

※26年度と元年度は台風接近のため各1日ずつ臨時休館

(2) 貸館事業

文化協会主催の「第11回和木町絵画美術展」の来館者数は前回は上回る結果となった。

文化会館で行われている「キッズ芸能祭」の代替事業としてコロナ禍に始まった「キッズ・フォトコンテスト作品展」については、隔年で実施されることとなった。今年度はフォトコンテストの開催年度であり、文化協会事務局が審査し、展示を行った。子どもたちが撮影した魅力的な一枚や面白い写真など様々な写真が展示された。

「令和6年度和木町文化協会文化祭展示会」は昨年に引き続き、通常通りに開催された。途中で展示替えを行い、前半と後半で内容の異なる展示を行っている。この展示会は令和元年度まで5週にわたって展示会が行われたが、出展団体の高齢化やコロナ禍で十分に活動ができず出展を辞退した団体もあり、以降は2週・10日間と開館日数を短縮して開催している。詳細は総合コミュニティセンターの文化協会事業を参照いただきたい。

また、今年度は和木小学校が開校150周年を迎えたため、記念展示が美術館で開催された。小学校に収納されている歴代の卒業制作や当時のアルバムを中心に、大谷翔平選手から贈呈されたグラブなども展示された。また、5月にタイムカプセルから発掘された手紙や写真の引き渡しも行われた。

その他にも公民館認定団体や一般のフィットネスでの使用、家電の展示会等での使用もあり、例年になく多種多様な団体や使用があった。

3 成果と課題

美術館事業は和木美術館設置の趣旨である、「町民の芸術文化に対する意識を深め、地域の活性化及び地域づくりを進める」ことについて、和木町文化協会主催による文化祭展示会をはじめとする関係各団体による利用もあり、一部の町民については関心が高い事業となっている。

今年度は開館日数が昨年度の数値を上回る結果となり、公民館認定団体による活動や一般の使用もあるなど、展示会以外の美術館利用も増加している。しかしながら、開館当初と比較すると、年間開館日数は依然少ない状態が続いている。加えて出展団体の高齢化や活動規模縮小が顕著であり、さらなる展示期間の短縮や展示そのものがなくなることが懸念される。施設の規模や設備から大々的な展示は不可能であることから、既存の展示会の内容充実や展示会以外での利用をさらに増やすなどの対策を行い、稼働率を向上させる必要がある。

4 図表

(1) 美術館各展示会とイベントの入館者等実績

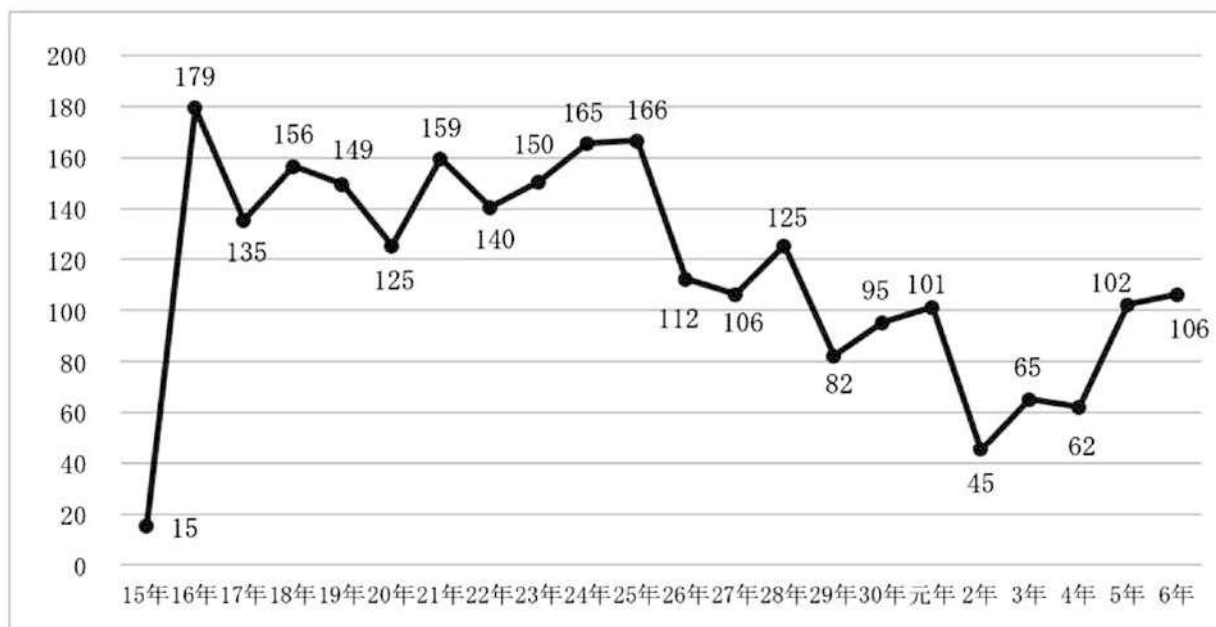
展示・使用名称		開催日	日数	来館者数
健康体操	和木ルンルンクラブ □	1月8日	1 日	20 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	1月22日	1 日	20 人
第11回和木町絵画美術展覧会	準備 ☆	1月26日	1 日	60 人
第11回和木町絵画美術展覧会	作品搬入 ☆	1月27日	1 日	170 人
第11回和木町絵画美術展覧会	作品審査 ☆	1月28日	1 日	12 人
第11回和木町絵画美術展覧会	☆	2月11日～2月25日	15 日	670 人
第11回和木町絵画美術展覧会	片付け ☆	2月26日	1 日	5 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	3月11日	1 日	20 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	3月25日	1 日	21 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	4月8日	1 日	19 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	4月22日	1 日	21 人
ZUMBA	△	4月22日	1 日	12 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	4月29日	1 日	21 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	5月6日	1 日	20 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	5月13日	1 日	25 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	5月27日	1 日	21 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	6月10日	1 日	24 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	6月24日	1 日	23 人
ZUMBA	△	7月3日	1 日	25 人
健康体操	和木ルンルンクラブ □	7月8日	1 日	21 人

ZUMBA	△	7月14日	1 日	25 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	7月15日	1 日	18 人
ZUMBA	△	7月17日	1 日	25 人
ZUMBA	△	7月20日	1 日	25 人
健康体操 和木ルンルンクラブ ☆	□	7月22日	1 日	22 人
ZUMBA	△	7月28日	1 日	25 人
美術館展示準備	○	7月30日	1 日	8 人
ダイナソーVRワールド	○	8月9日～8月15日	7 日	2,163 人
ワキテンボスVRワールド	○	8月16日～8月25日	10 日	2,336 人
美術館展示搬出	○	8月26日	1 日	6 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月9日	1 日	23 人
パナスポット展示会準備	△	9月27日	1 日	16 人
パナスポット展示会	△	9月28日	2 日	489 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月30日	1 日	23 人
キッズフォトコンテスト準備	☆	10月1日	1 日	10 人
キッズフォトコンテスト	☆	10月5日～10月12日	8 日	132 人
文化祭展示会準備	☆	10月25日～10月27日	3 日	30 人
令和6年度和木町文化協会文化祭展示会 前半	☆	10月30日～11月3日	5 日	193 人
令和6年度和木町文化協会文化祭展示会 後半	☆	11月6日～11月10日	5 日	114 人
和木小学校開校150周年記念展示 準備	◇	11月14日	1 日	16 人
和木小学校開校150周年記念展示	◇	11月15日～11月30日	16 日	156 人
和木小学校開校150周年記念展示 撤収	◇	12月3日	1 日	9 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	12月9日	1 日	11 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	12月23日	1 日	20 人
計			106 日	7,125 人
平均（人/日）				263.9 人

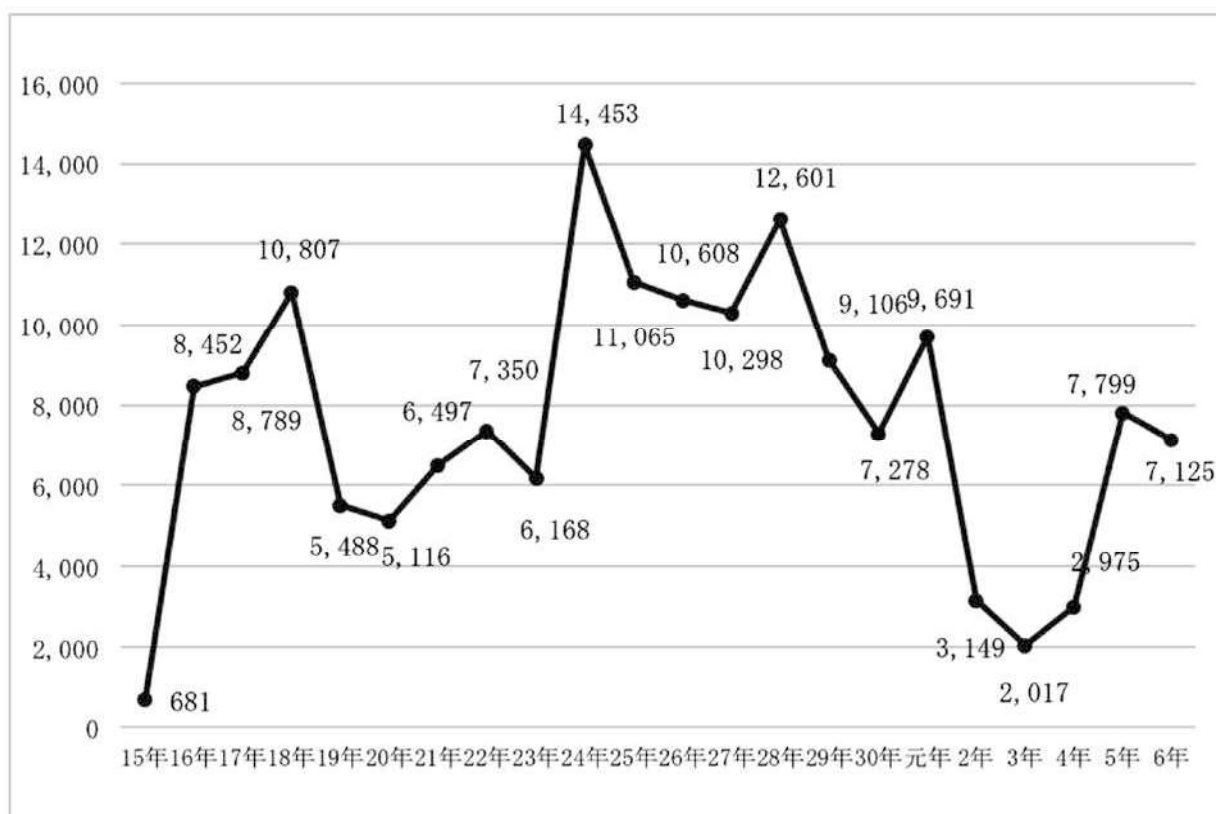
※○は主催事業、☆は文化協会及び所属団体の主催事業、□は公民館講座認定団体、
◇は教育委員会共催事業、△は一般

(2) 各年度の数値（開館日数・入場者数等）

① 年間開館日数の推移



② 年間来館者数の推移



◆教育委員会関係資料

学級編制状況（５月１日現在）

【和木こども園】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
0 歳児	ひよこ組	2	0	2	福村 和子・中村 聡子
1 歳児	り す組	5	6	1 1	村上 菜那・谷本 亜弥
	うさぎ組	5	4	9	中林 早希・嘉屋 祥子
2 歳児	ぱんだ組	7	5	1 2	新谷 典子・堀江 梨杏
	きりん組	7	7	1 4	松田香奈江・山田帆乃香
年 少 (3 歳児)	りんご組	8	5	1 3	杉岡 加奈子
	ばなな組	9	5	1 4	二武 美江子
	ぶどう組	8	5	1 3	山 田 優 里
	計	2 5	1 5	4 0	
年 中 (4 歳児)	たんぼぼ組	1 0	8	1 8	大 石 玲 耶
	わかば組	1 0	7	1 7	木 村 美 香
	つくし組	1 1	7	1 8	福 成 莉 沙
	計	3 1	2 2	5 3	
年 長 (5 歳児)	つ き組	9	9	1 8	宮 田 知 佳
	ほ し組	8	9	1 7	藤野 麻須美
	に じ組	7	1 0	1 7	中 本 優 花
	計	2 4	2 8	5 2	
合 計		1 0 6	8 7	1 9 3	

【和木小学校】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
1 年	1 組	1 2	1 2	2 4	宇治野 暁子
	2 組	1 3	1 1	2 4	大 塚 崇 旦
	計	2 5	2 3	4 8	
2 年	1 組	1 8	1 1	2 9	西 本 秀 樹
	2 組	1 9	1 3	3 2	西 村 優 真
	計	3 7	2 4	6 1	
3 年	1 組	1 6	1 5	3 1	西 本 聖 子

	2 組	1 4	1 5	2 9	磯部 宏太郎
	計	3 0	3 0	6 0	
4 年	1 組	1 9	1 4	3 3	藤谷 育子
	2 組	2 0	1 3	3 3	浅井 詩織
	計	3 9	2 7	6 6	
5 年	1 組	1 4	1 9	3 3	田村 芳子
	2 組	1 5	1 8	3 3	福屋 悠一
	計	2 9	3 7	6 6	
6 年	1 組	1 5	1 7	3 2	倉光 聖
	2 組	1 6	1 9	3 5	楠木 海仁
	計	3 1	3 6	6 7	
たんぽぽ		4	2	6	吉村 絵実
やまもも1		1	3	4	山本 恵子
やまもも2		6	0	6	長和一 富
つくし		1	0	1	宮本 春菜
合 計		1 9 1	1 7 7	3 8 5	

【和木中学校】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
1 年	1 組	1 6	1 5	3 1	岡部 光
	2 組	1 6	1 5	3 1	堀尾 寧々
	計	3 2	3 0	6 2	
2 年	1 組	1 1	1 6	2 7	藤本 晴香
	2 組	1 1	1 5	2 6	小嶋 秀忠
	計	2 2	3 1	5 7	
3 年	1 組	1 3	2 3	2 6	国光 陽子
	2 組	1 2	2 0	3 2	高木 誠司
	計	2 5	4 3	6 8	
いぶき		3	2	5	橋口 京佳
きぼう		4	1	5	小松 茂輝
合 計		8 6	1 0 7	1 9 3	

令和6年和木町教育委員会施設関連工事等

1 令和5年度(令和6年1月1日以降の契約)の主な工事、修繕等(50万円以上)

(1) 和木こども園

①園内無線環境構築工事

ア 契約金額 1,025,838円

イ 請負業者 ㈱田宮事務器

ウ 工事期間 令和6年2月14日 至 令和6年3月31日

エ 目 的 保育業務支援システム(コドモン)の導入に伴い、園内にインターネット環境が必要となったため、無線環境構築工事を行った。

(2) 和木中学校

①体育館階段手摺及び入口床面補修工事

ア 契約金額 880,000円

イ 請負業者 ㈱中谷工務店

ウ 工事期間 令和6年3月7日 至 令和6年3月29日

エ 目 的 和木中学校体育館の屋外階段手摺及び玄関前ポーチについて、塗装の劣化やコンクリート部のひび割れ・破損が見られたため修繕を行った。

(3) 和木町文化会館

①屋上防水改修工事

ア 契約金額 831,600円

イ 請負業者 ㈱中谷工務店

ウ 工事期間 令和6年1月9日 至 令和6年3月31日

エ 目 的 屋上防水設備の経年劣化が原因で雨漏りが発生し、2階商工会事務室前の天井の一部が落下したため、防水シートの部分張替えと周辺コンクリートの舗装工事防水シートの張替え、天井の張替えを行った。

2 令和6年度(令和6年12月31日以前の契約)主な工事、修繕等(50万円以上)

(1) 旧保育所

①不用品廃棄業務

ア 契約金額 990,000円

イ 請負業者 ㈱ダイワ

ウ 業務期間 令和6年5月2日 至 令和6年8月29日

エ 目 的 建物が倒壊の危険性があり、解体する予定があるため、不用品を廃棄した。

②解体工事実施設計業務

ア 契約金額 2,640,000円

イ 請負業者 (株)松重設計

ウ 業務期間 令和6年11月25日 至 令和7年3月31日

エ 目 的 業務場所の内部が一部剥落しており、建物内が非常に危険な状況になっている。
解体に係る数量や金額、工法などを算出するための設計を行った。

(2) 和木中学校

①校舎棟外壁改修工事 工事監理業務

ア 契約金額 3,410,000円

イ 請負業者 (株)ますもと設計事務所

ウ 業務期間 令和6年6月12日 至 令和7年1月31日

エ 目 的 和木中学校校舎棟外壁改修工事において、工事が設計図書のとおりに実施されているか照合・確認等を行うための工事監理業務を委託した。

②校舎棟外壁改修工事(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 61,688,000円(当初契約時)
77,074,800円(変更契約後)

イ 請負業者 勝井建設(株)

ウ 工事期間 令和6年6月19日 至 令和7年1月31日

エ 目 的 外壁が老朽化し、浮き上がりや亀裂、剥落しているため、改修工事を行い、生徒や教職員の安全を確保することにより、各種教育活動の向上を図った。

(3) 和木町文化会館

①非常用照明器具取替工事(工事)

(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 2,530,000円

イ 請負業者 (株)中電工 岩国営業所

ウ 工事期間 令和6年9月10日 至 令和7年3月31日

エ 目 的 令和3年に実施した特殊建築物等定期点検業務において、非常用照明37個がバッテリー劣化により点灯しないことが判明した。器具の取替えを実施し、非常時の避難誘導が円滑に行うことができるようにした。

②負荷設備更新工事（工事）

（米空母艦載機部隊特別交付金対象事業）

ア 契約金額 2, 200, 000円

イ 請負金額 (有)扶双

ウ 工事期間 令和6年9月10日 至 令和7年3月31日

エ 内 容 舞台照明器具の給電コンセントが老朽化しているため、電気用品取締法により認可をうけたアース付きコンセントに交換し、安心安全な施設運営につなげた。

③空調設備改修工事 設計業務（業務）

（米空母艦載機部隊特別交付金対象事業）

ア 契約金額 1, 529, 000円

イ 請負業者 (株)藤沢設計

ウ 工事期間 令和6年11月22日 至 令和7年3月31日

エ 内 容 業務場所の空調設備に近年不具合が多発している。本業務は、取替える必要がある場所を選定や図面作成、工事費の積算を行った。

④特殊建築物等定期報告書作成業務（業務）

ア 契約金額 528, 000円

イ 請負業者 (株)松重設計

ウ 業務期間 令和6年9月20日 至 令和7年3月14日

エ 内 容 文化会館の維持管理について、建築基準法第12条第1項及び第3項に基づき、3年に1回実施している建築物の検査を行い、異常や危険個所の発見及び定期報告書の作成業務を行った。

(4) 和木町総合コミュニティセンター

① 保健相談センターバルコニー防水改修工事

ア 契約金額 693, 000円

イ 請負業者 (株)中谷工務店

ウ 業務期間 令和6年6月3日 至 令和7年3月31日

エ 目 的 屋上防水設備の経年劣化が原因で、保健相談センターロビーにおいて雨漏りが発生したため補修した。

②消防設備改修工事

（米空母艦載機部隊特別交付金対象事業）

ア 契約金額 5, 170, 000円

イ 請負業者 (株)大嶋商会

ウ 業務期間 令和6年9月30日 至 令和7年3月31日

エ 目 的 自動火災報知設備受信機及び副受信機が故障し、非常放送切替え時にベルが停止できなかったため、連動する煙感知器とともに取替えた。

③空調設備改修工事

(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 4,939,000円

イ 請負業者 (株)キリタ

ウ 工事期間 令和6年10月11日 至 令和7年3月31日

エ 目 的 自動制御機器や電動三方弁モーター、温湿度調整器、圧力計などが経年劣化により故障や動作不安定が発生していたため機器を取替えた。

(5) 和木町学校給食センター整備基本計画策定業務

(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 7,513,000円

イ 請負業者 (株)復建調査設計山口支社

ウ 業務期間 令和6年8月21日 至 令和7年2月28日

エ 目 的 給食センターの建て替えのための基本計画策定

本町独自の奨学金制度も発足以来56年目を終了し、基金積立額は、総額44,400,876円に達し効果的に活用されている。

○ 奨学金貸付状況

– 132 –